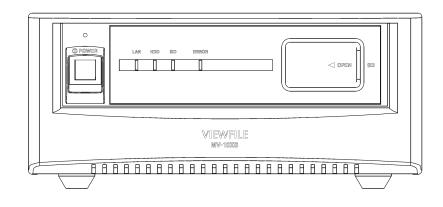
TEAC

HDD + SD カードカラー静止画レコーダ

MV-10XS MV-10XH MV-10XD

取扱説明書

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。 お読みになったあとは、いつでも見られるところに 大切に保管してください。



本体に表示している記号について

前面(フロント)

 \bigcirc 電源を入/切 するためのスイッチです。

背面(リア)

∼IN 本体に電源を供給するためのコネクタです。 付属の電源コードを接続してください。



★ 等電位化端子です。DIN 42801 に従ったコネ クタをもつ等電位化ケーブルを接続してくだ さい。

「ワー ネットワークに接続するためのコネクタです。

映像信号を入力するためのコネクタです。

→ (***) (***) (***) (***) (***)

映像信号を出力するためのコネクタです。

180

この表示のあるコネクタは静電気により内部 が破損する可能性があります。コネクタの接 点部に素手で触れないようご注意下さい。

安全にお使いいただくために

警告 これらを無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

異常が起きたら

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異 常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となりま す。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラ グをコンセントから抜いてください。煙が出なくなる のを確認して当社サービス部門に修理をご依頼くださ い。

水にぬらさない

この機器を水にぬらさないでください。また、花びん や水などの入った容器をこの機器の上に置かないでく ださい。内部に水が入ったまま使用すると、火災・感 電の原因となります。内部に水が入った場合は、まず 機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセ ントから抜いて、当社サービス部門にご連絡ください。

内部に異物を入れない

この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい ものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでく ださい。中に入った場合、火災・感電の原因となりま す。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付 着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布 で取り除いてください。そのままで使用すると火災・ 感電の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものを載せたり、コードが本機 の下敷きにならないようにしてください。コードを傷 つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、 引っ張ったり、加熱したりしないでください。火災・ 感電の原因となります。

交流 100 ボルト以外の電源で使用しない 交流 100V 以外の電源で使用しないでください。火 災・感電の原因となります。

カバーを開けない

この機器のカバーは絶対に外さないでください。感電 の原因となります。内部の点検・修理は当社サービス 部門にご依頼ください。

改造しない

この機器を改造しないでください。火災・感電の原因 となります。

安全にお使いいただくために

注意 これらを無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性、および物的損害の発生が想定されます。

適さない設置場所

次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- ・ 湿気やほこりの多い場所
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所
- ・ 直射日光があたる場所
- 振動が激しい場所

機器はコンセントの近くに設置する

機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易 に手が届くようにしてください。

接続前の注意

他の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書 をよく読み、電源を切り、説明書にしたがって接続し てください。

また、接続には所定のコードを使用してください。

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

上に物を置かない

この機器の上に物を置かないでください。倒れたり、 落下してけがの原因となることがあります。また、内 部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

指をはさまれないように注意

SD カードスロットドアを開け閉めするときに手指をはさまれないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグにさわると、感電の原因となる ことがあります。

電源コードを持って抜かない

コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。電源コードを抜くときは電源プラグを持って抜いてください。

移動させるときは

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから移動してください。コードが傷つき、火災、 感電の原因となることがあります。

お手入れのさいは

安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行って ください。

長期間ご使用にならないときは

長期間この機器をご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

1年に1度ぐらいは点検をご相談ください 内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと 火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気 の多くなる梅雨期の前に点検を行うと、より効果的で

す。

ご使用の前に

お買い上げいただきましてありがとうございます。ご 使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。お読 みになったあとは、いつでも見られるところに大切に 保管してください。

製品構成

MV-10XS または MV-10XH または MV-10XD 本体		
リモートコントロールユニット(VS-430)	1	台
RGB ケーブル (D-sub ・BNC)	2	本
RGB ケーブル (D-sub ・D-sub) [MV-10XS]	2	本
DVI ケーブル [MV-10XD]	1	本
S-VIDEO ケーブル	2	本
BNC ケーブル	2	本
SD カード	1	枚
電源コード	1	本
取扱説明書 (本書)	1	₩
ViewFile Lite CD-ROM	1	枚
ViewFile Lite 取扱説明書	1	₩

●本書に記載の各会社名、商品名は各社の商標または、 登録商標です。

HDD について

本機は HDD (ハードディスクドライブ) を内蔵しています。HDD は衝撃や振動、温度など周囲の環境の変化を受けやすく、記録されている画像に影響を及ぼす可能性があります。以下のことにご注意下さい。

- ・ 振動、衝撃を与えないで下さい。
- ・ 水平な場所に置いてご使用下さい。
- · HDD アクセス中(P.9)に電源を切らないで下さい。

内蔵 HDD に記録した内容の長期保管は保証できません。 また、古い画像から自動削除します。大切な画像データは、LAN または SD カード経由でパソコンや DVD などでの保管を推奨します。

HDD には寿命があり、使用状態によっては数年で異常をきたす場合があります。記録または再生ができなくなった場合は、当社サービス部門に修理をご依頼ください。

SD カードについて

SD カードのフォーマット(初期化)は本機で

本機で使用する SD カードは、画像記録前に本機でフォーマットしてください。パソコンでフォーマットした場合や未フォーマットの SD カードでは画像の記録はできません。

SD カード用スライドドア

SD カードスロットには、異物・埃浸入防止の為スライドドアがあります。誤抜防止や誤動作防止の為に SD カードの抜き差し時以外は、ドアを閉めて下さい。

SD カードの抜き差し

SD カードを抜き差しする場合は、本機の電源を切ってから行ってください。

また SD カードには、ラベルを貼らないでください。本体内部に引っかかり、SD カードの挿抜が出来なくなる恐れがあります。

パソコンに入れるときは書き込み禁止に

本機で記録した SD カードをパソコンのカードスロットに入れる場合は、"書き込み禁止スイッチを「LOCK」側"にして書き込み禁止にしてください。尚、本機で記録する場合は「LOCK」を解除してください。

※SD カード内ファイルおよびファイル構造は編集しないで下さい。本装置で追記、再生が出来なくなる恐れがあります。



_____ 書込み禁止スイッチ

「LOCK」側にする事で、データ書き 込みを禁止できます。

※書込み禁止スイッチは、端(停止 するところ)まで動かしてください。

書き込み禁止状態

※パソコンのSDカードリーダによっては容量の制限で 読めない物もあります。使用しているカード容量にあったカードリーダをご使用下さい。

記録画像保管

長期間画像を保管するには、パソコンや DVD などでの保管を推奨します。

- ※microSD カード、miniSD カードに変換アダプタを接続した SD カードの使用は避けてください。
- ●SD ロゴおよび SDHC ロゴは商標です。

使用上の注意

使用環境

確実な動作のために下記の環境のもとでご使用ください。

· 温度:5 ~ 35 ℃

· 湿度:30 ~ 80%RH(非結露)最大湿球温度 29℃以下

水平に、振動を避けて

本製品はゴム足を下にして水平に設置してください。

他の機器を上に置かない

本製品の上に他の機器を置かないでください。内部に 熱がこもり、故障の原因となります。

通風孔をふさがない

本製品背面の冷却ファンの吹き出し口、および本体前面の通風孔をふさがないでください。ふさぐと内部に 熱がこもり、故障の原因となります。

つぎのような場所で使わない

- ・急激な温度変化のあるところ
- ・直射日光があたるところ
- 振動のあるところ
- 熱源の近く
- ・湿度の高いところ
- ほこりや油煙があるところ
- 引火性のガスのあるところ

つぎのような場所で使うと誤動作等の原因となることがありますので、避けてください。

- ・高周波を発生する機器の近く
- ・強力な磁気、静電気のあるところ

画像記録中電源を切らない

画像記録中および画像転送中(P.9)に電源を切らないでください。もし切ると、少なくともその時に記録していた画像はなくなります。最悪の場合は他の画像も再生できなくなることがあります。

内蔵電池は5年で交換する

本機は内蔵の時計を動かすための電池をもっています。この 電池が切れると正確な時刻保持ができなくなり、記録画像の 時刻に影響があります。寿命が来る前に5年ごとに交換する ことをおすすめします。交換はお客様にはできませんので、 弊社サービス部門にご用命ください。

付属のリモコンを使用する

他の機器に付属のリモコンを本機につないで使用しないでください。

付属ソフト "DVFinder"について

本製品には画像記録した SD カードを PC の SD カードリーダ内で検索するための Windows アプリケーション "DVFinder" が付属しています。通常のアプリケーションはハードディスクにインストールして使いますが、このソフトはそれとは異なり、本製品でSD カード をフォーマットすると自動的に SD カードに書き込まれるようになっています。

このソフトウエアは、お客様が以下のソフトウエア使用契約の条件に同意されることを前提として、ティアック株式会社(以下、弊社といいます)よりご使用を許諾するものです。万一、同意いただけない場合は、製品一式を購入店へご返却ください。購入代金を返金させていただきます。

お客様が以下のソフトウエア使用契約の条件に違反されますと、 弊社の権利を侵害することになり、以降のご使用の停止、また、 損害賠償等の請求対象となりますことをご承知おきください。

ソフトウエア使用契約

- 1. 本契約は、お客様が本製品で SD カード を初めてフォーマット したときから発効します。同意いただけない場合は、フォーマットしないでください。
- 2. お客様が本ソフトウエアを取得されたことは、本ソフトウエア 契約に規定された以外に本ソフトウエアのいかなる権利、権原 若しくは利権の取得を意味するものではありません。お客様は、 本ソフトウエアが弊社に帰属する著作物として、「万国著作権 条約」または「文学的および美術的著作物保護に関するベルヌ 条約」の加盟国の著作権法に基づき保護されることをご認識く ださい。本ソフトウエアの著作権は、弊社に帰属しております。
- 3. (1) お客様は、本ソフトウエアをバックアップ以外の用途で複製することはできません。
 - (2) お客様は、本ソフトウエアを解析したり、コンパイラ言語 やアセンブラ言語に変換することはできません。
 - (3) お客様は、本ソフトウエアを弊社の事前承諾なく、第三者に譲渡することはできません。
- 4. 弊社は、本ソフトウエアが所定の環境下において、弊社が明示 した動作をすることは確認しておりますが、本ソフトウエアが、 お客様の特定の使用目的に適合するか否か、また、本ソフトウ エアの動作が中断しないことや誤りのないことを保証するもの ではありません。
- 5. 弊社は、本ソフトウエアの使用や使用不能から生じたいかなる 損害(事業上の損失、営業の中断、営業上の情報の損失、その 他の金銭上の損害など)についても責任を負いません。たとえ その損害の可能性が弊社に事前に知らされていたとしても同様 です。

上記契約に関してご不明な点などがございましたら弊社にお問い 合わせください。

もくじ

本体に表示している記号について2	転送する	28
安全にお使いいただくために3	すべての画像ファイルを転送する	28
使用上のお願いとご注意4	指定の画像ファイルを転送する	28
ご使用の前に4	HDD 画像を SD カードにコピーする	28
製品構成5	指定検査の画像ファイルをコピーする	28
HDD について4	眼底カメラ同期機能	29
SD カードについて4	眼底同期設定にする	29
使用上の注意5	アクションモードを選択する	29
付属ソフト"DVFinder"について5	眼底カメラ同期ケーブルを接続する	29
特長7	記録する	29
画像ファイルについて8	眼底タイマー機能	29
各部のなまえ9	PC で画像を表示する	30
前面9	設定のしかた	31
背面10	メニュー項目一覧	33
リモコン12	入力信号に関わる設定	34
電源を入れる前の準備13	システム設定 1	35
入力ケーブルを接続する13	システム設定 2	37
出力ケーブルを接続する14	HD 設定(MV-10XS を除く)	39
リモコンを接続する14	ネットワーク	41
電源ケーブルを接続する14	転送設定	43
使ってみましょう15	カード・バーコード	45
SD カードを入れる15	眼底設定	46
電源を入れる15	システム設定 3	47
SD カードをフォーマットする15	SD カードフォーマットの操作	48
電源を切る16	文字の入力のしかた	49
SD カードを取り出す16	表示と音	50
基本的な操作フロー17	ブザー仕様	50
記録前の準備18	リモコン表示	50
入力信号の選択18	メンテナンスと保証	52
画質の設定18	点検のすすめ	52
磁気カードリーダ/バーコードリーダの設定18	本体、リモコンのクリーニング	52
SD カードのフォーマット18	故障かなと思ったら	52
記録する19	保証について	53
記録のとき便利な機能20	廃棄するときは	53
フリーズ20	付録	54
直前にとった画像を見る20	仕様	54
再生する21	コネクタのピン配列	55
検索対象デバイス変更22		
全検索22		
ID 検索23		
日付検索24		
インデックス再生25		
画像再生中の操作26		
再生のとき便利な機能27		
再生中の患者情報を変更する27		
HD 画像を NTSC 信号に変換し出力する(MV-10XS を除く). 27		

特長

本機は内蔵 HDD と SD カードを記録媒体として、テレビジョン信号、または HD 信号を記録・再生する装置です。 画像圧縮技術 JPEG を採用し効率よく記録しています。

■ 2種類の記録媒体

内蔵 HDD とリムーバブルの SD カードの両方 $(2 \ \pm t)$ に記録できます。また HDD に故障があったときは SD カードで動作します。

■ 記録画像が劣化しません。

デジタル方式で記録しますので、何度再生しても記録 されている画像は劣化しません。

■ 各種信号を入力できます。

NTSC 規格の RGB・コンポジット(VIDEO)・S-VIDEO と、MV-10XH はアナログ高精細(HD)、MV-10XD は DVI の入力信号に対応しています。

■ 4 種類の圧縮モードを選べます。

EQ(大容量)、SQ(標準画質)、HQ(高画質)、TF(非圧縮、MV-10XS を除く)の4 種類の圧縮モードが選べます。

■ 便利なデータ管理情報を付加します。

画像データにつぎのような情報を付け加えて記録します。これらの情報を手がかりにして画像をすばやく 検索することができます。

・日時 : 記録した日時

ID : 32 文字までの英数字
 名前 : 32 文字までの英数字
 生年月日 : 12 文字までの英数字
 性別 : 1 文字の英数字

■ インデックス表示ができます。

1つの画面に9枚の画像を表示して、その中から見たい画像を選ぶことができます。

■ そのままパソコンで表示できます。

画像データを SD 規格に準拠したフォーマットで記録 しますので、SD カードをパソコンの SD カードリーダ に入れて読み込めます。

パソコンのカードスロットに入れる場合は、「LOCK」 スイッチを書き込み禁止側にしてください。

■ パソコンで歪みなく表示できます。

画素が正方形になるように記録しますので、画像データをパソコンで表示したときに歪みがありません。

■ 3種類の信号を出力できます。(NTSC 入出力)

RGB ・コンポジット(VIDEO)・S-VIDEO の3種類の信号を同時に出力します。

■ 画像データを消去して再び記録できます。

再フォーマットすることにより SD カード上のデータをすべて消去し、そこに再び記録することができます。

■ その他の便利な機能

- ・画像を1枚ずつ順に再生できます。
- ・記録順に自動的にコマ送りできます。

■ 医用電気機器の安全規格

医用電気機器規格 JIST0601-1:1999 により評価されています。

画像ファイルについて

本機では [検査開始] キーを押してから [検査終了] キーを押すまでを「検査」と定義します。1つの検査に対して1つの「検査フォルダ」(2 階層目のフォルダ)が作られます。この検査フォルダに、それぞれの「検査」の間に記録した一連の画像ファイルが格納されます。

- ※SD カード 1 枚あたりの最大検査数: 9999
 空き容量があっても上記最大検査数を超えて SD カードへの収録はできません。
- ※1 検査 500 枚録画すると、患者情報を引継ぎ自動で 次の検査に移ります。ただし、検査ブロックは別に なります。

SDカード中のファイル構造は下図のようになります。

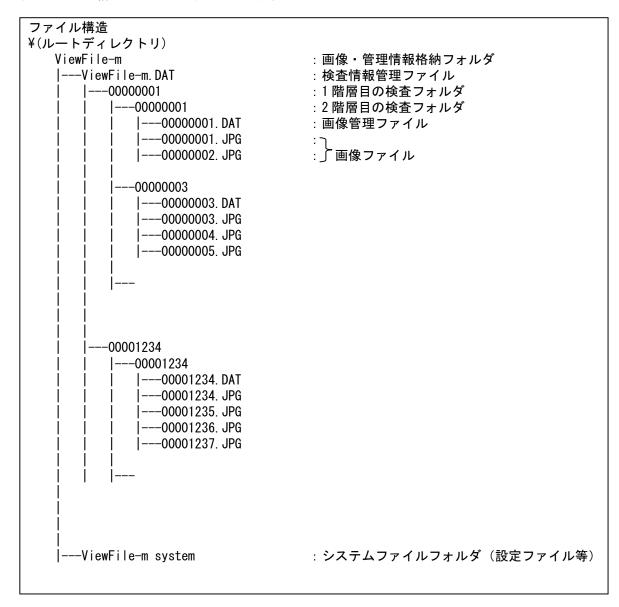
画像ファイル名

各画像ファイル (. JPG) のファイル名は、検査フォルダの枠を超えて 1 枚のメディアの中で連番になります。たとえば、ある検査フォルダの最後の画像ファイルが"00000005. JPG"とすると、次の検査フォルダの最初の画像のファイル名は"00000006. JPG"になります。

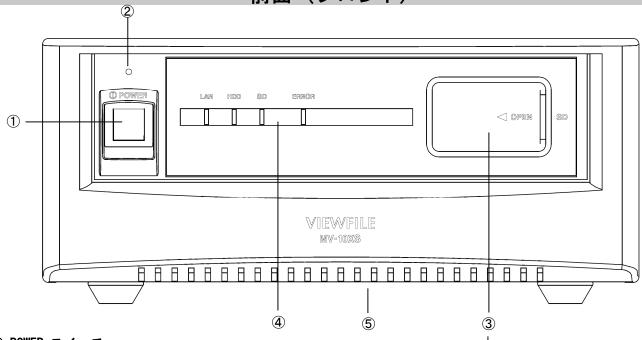
検査フォルダ名(2 階層目のフォルダ名)

各検査フォルダのフォルダ名は、そのフォルダの最初 の画像ファイル番号と同じになります。

なお、100 検査毎(または、はじめての検査時)に、 1階層目のフォルダが自動的にできます。このフォル ダ名も、フォルダ内の最初の画像ファイル番号と同じ になります。



前面(フロント)



① POWER スイッチ

押すと電源が入ります。もう一度押すと切れます。

2 POWER LED

電源が入ると点灯します。

③ SD カードスロット

左側にドアをスライドすると、SD カードスロット が現れます。(ドアオープン時)

④ 状態表示 LED

本機の動作状態を表します。

LAN(緑色の LED)

消灯 : ネットワークのリンク信号なし 点灯 : ネットワークのリンク信号あり

早い点滅:ネットワークアクセス中

遅い点滅:警告

HDD (緑色の LED)

点灯 : HDD 待機中 早い点滅: HDD アクセス中 遅い点滅: 警告(HDD 異常)

SD(緑色の LED)

消灯 : SD カードなし

点灯: SD カードあり、待機中早い点滅: SD カードアクセス中

遅い点滅:警告(SD 異常)

ERROR (赤色の LED)

消灯 : 警告無し 遅い点滅:警告中

同期して警告元のデバイスが点滅します。LAN, HDD, SD 以外の場合は単独

で点滅します。

⑤ 通風孔

冷却の為の空気の取り入れ口です。ふさがないでく ださい。

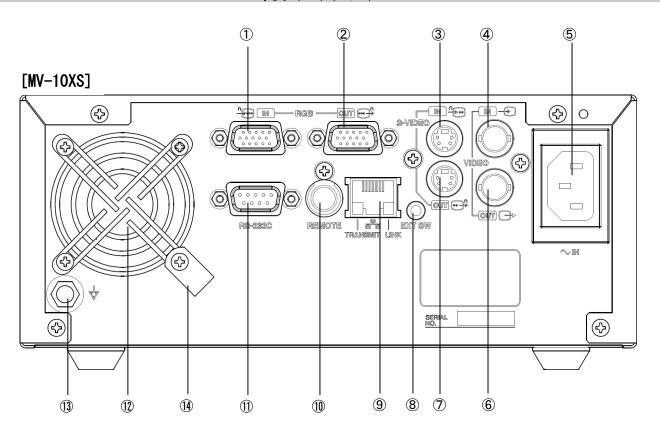
PUSH EJECT

△ SD

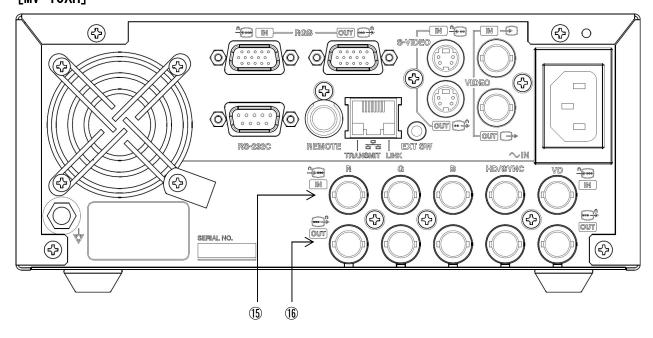
ドアオープン時

SD

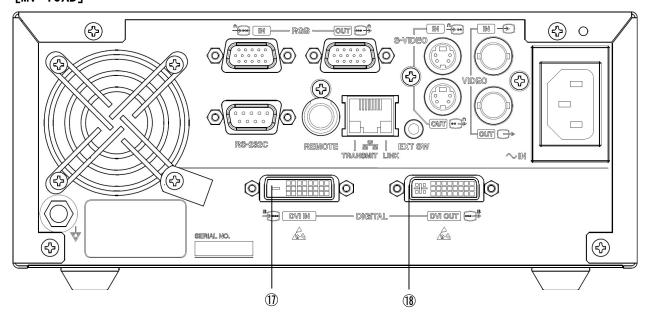
背面(リア)



[MV-10XH]



[MV-10XD]



① RGB 入力コネクタ

RGB (NTSC) 信号を入力します。 付属ケーブルの青色コネクタ (D-SUB) を接続します。

② RGB 出力コネクタ

RGB (NTSC) 信号を出力します。

付属ケーブルの青色コネクタ (D-SUB) を接続します。

③ S-VIDEO 入力コネクタ

S-VIDEO(NTSC) 信号を入力します。

④ VIDEO 入力コネクタ

VIDEO(NTSC) 信号を入力します。

⑤ 電源コネクタ

付属の電源コードを接続します。アース線は必ず接 地してください。

⑥ VIDEO 出力コネクタ

VIDEO(NTSC) 信号を出力します。

⑦ S-VIDEO 出力コネクタ

S-VIDEO(NTSC) 信号を出力します。

⑧ 外部スイッチ用ジャック

別売のフットスイッチを接続します。

⑨ LAN コネクタ

画像ファイルを転送する時、ネットワークに接続します。

① REMOTE コネクタ

リモコンを接続します。このコネクタのコントロール信号線は RS-232C に準拠しています。

① RS-232C コネクタ

外部から本機をコントロールするときに使います。 詳細はお問い合わせください。

(12) 冷却ファン

本体を冷却するためのファンです。吹き出し口をふさがないでください。

(13) 等電位化端子

等電位化端子です。DIN 42801 に従ったコネクタをもつ等電位化ケーブルを接続してください。

医療機器と組み合わせて使用される際は専用のケーブルで機器と機器を接続して下さい。

(4) ケーブルクランプ

EXT SW の抜け防止の為のケーブルクランプです。 ネジを外しケーブルを巻きつけ、同じ位置にネジで 固定します。

(15) HD 入力コネクタ (MV-10XH のみ)

HD 信号を入力します。

⑯ HD 出力コネクタ(MV-10XH のみ)

HD 信号を出力します。

① DVI 入力コネクタ (MV-10XD のみ)

DVI 信号を入力します。

DVI-D ケーブルを接続します。

(B) DVI 出力コネクタ (MV-10XD のみ)

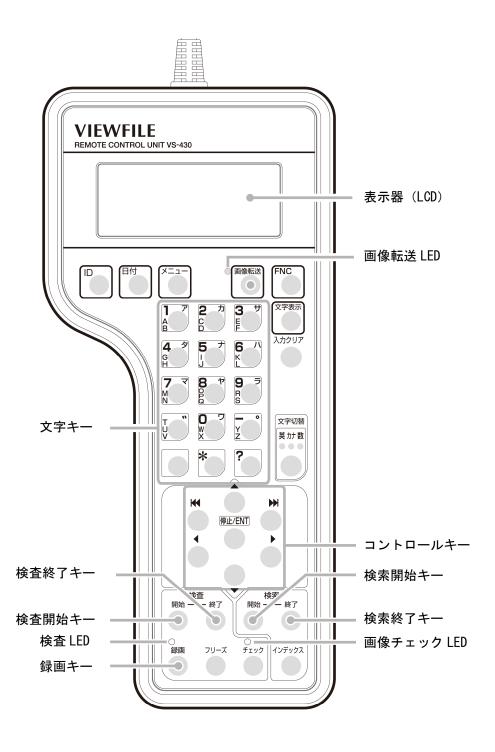
DVI信号を出力します。

DVI-D ケーブルを接続します。(DVI-I ケーブルを接続することも可能です。ただし、アナログ RGB 信号は出力されません。)

リモコン

リモコンの各部の名前は下図に示したものを除き、パネルの表記にしたがって「ID キー」、「▲キー」等とよびます。

※暗い所での操作のためにキーをほのかに光らせることができます。設定のしかたは「リモコン EL」(P.35)をお読みください。



電源を入れる前の準備

この章では電源を入れる前に行う接続と設定について 説明します。ここで説明する接続・設定が終わるまで は電源を入れないでください。

接続するのは、電源、リモコン、入力、出力、です。

入力ケーブルを接続する

本機は S-VIDEO 入力端子、VIDEO 入力端子、RGB 入力端子、HD 入力端子(MV-10XH)、DVI 入力端子(MV-10XD)の入力端子をもちます。いずれかの端子に入力ケーブルをつないでください。

● RGB 入力ケーブルを接続するときは

MV-10XH は RGB (NTSC) と HD の 2 種類の RGB 入力端子を持ちますが、これら 2 種類の RGB 入力端子を同時に両方使用することはできません。

- RGB (NTSC)

本機に入力できる RGB (NTSC) 信号は下記の通りです。 毎秒30フレーム/水平走査線数525本、インターレース

- HD (MV-10XH のみ)

MV-10XH に入力できる HD 信号は下記の通りです。 ハイビジョン規格 RGB 信号 50Hz/60Hz インターレース

5 線式 RGB 信号

60Hz ノンインターレース

※詳細は P.39 HD 設定の入力設定をご確認下さい。

付属のケーブルを使用する場合 信号名と色は以下のようになります。

5 線式(MV-10XH)	4 線式(MV-10XS)
R 赤	R 赤
G 緑	G 緑
B	B 青
HD/SYNC 白	SYNC 白
VD 茶	

●DVI 入力ケーブルを接続するときは(MV-10XD のみ)

入力できる DVI 信号は下記の通りです。

640 × 480 (60Hz) ~ 1280 × 1024 (60Hz) DVI 信号の識別は自動で行われます。

出力ケーブルを接続する

本機は S-VIDEO 出力端子、VIDEO 出力端子、RGB 出力端子の3つの NTSC 出力端子と、HD (高精細画像) 出力端子 (MV-10XH)、DVI 出力端子 (MV-10XD) を持ちます。入力選択 (P. 34) において、HD 以外を指定した場合は3つの NTSC 出力端子全てに同時に信号が出力されています。また、入力選択に関わらず、HD、DVI 以外で記録した画像を再生中にも3つの NTSC 出力端子全てに同時に信号が出力されます。

入力選択(P.34)において、HD を指定した場合は、HD 出力端子または DVI 出力端子に信号が出力されます。 HD を指定して記録した画像を再生する場合、現在の入力選択に関わらず HD 出力端子又は DVI 出力端子にしか出力されません。

- ※ MV-10XS には HD 出力端子、DVI 出力端子がありません。
- ※ MV-10XH には DVI 出力端子がありません。
- ※ MV-10XD には HD 出力端子がありません。

● 電源を切っても画像が見られるようにするには

下図の接続例①では、本機の電源を切るとモニタで入 力画像を見ることはできません(MV-10XH HD 入出力を 除く)。そこで接続例②のようにつなげば、本機の電 源を切っても入力画像を見ることができます。

【接続例①】 画像機器 本機 モニタ 画像機器 本機 モニタ (本機への入力とは別種の信号)

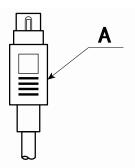
リモコンを接続する

注意

リモコン、カードリーダ、バーコードリーダの抜き差しをするときには本体の電源を切ってください。電源を入れたまま抜き差しすると本体または リモコンが破損することがあります。

リモコンを抜く場合は A 部 (下図) を抜く方向に引いて抜いてください。

リモコンケーブル先端のプラグを本体リアパネルの REMOTE 端子に差し込んでください。下図の面が上側で す。



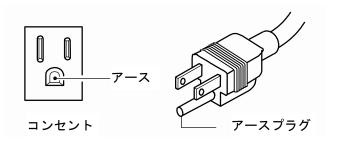
電源ケーブルを接続する

警告

本機の電源は $AC100 V \pm 10 \% (50/60 Hz)$ です。 それ以外の電源を投入すると火災・感電の原因となります。

感電事故を防ぐため、必ず絶縁トランスを使用してください。

電源コードは 3 芯式です。安全のため 2 芯式コンセント(アースなし) には接続しないでください。



SD カードを入れる

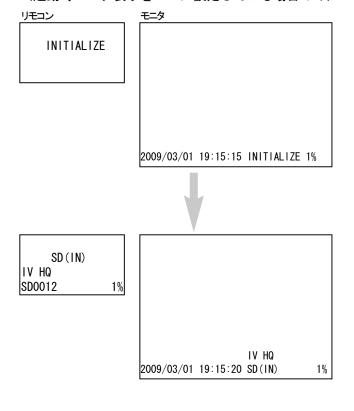
電源を入れる前に、付属の SD カードまたは同等の SD カードを挿入します。

- 1. 前面パネルの SD カード用スライドドア開けます。
- **2.** SD カードを奥まで挿入します。
 - (奥まで押し込むと"カチッ"と音がします)
- **3.** スライドドアを閉めます。

電源を入れる

モニタ・画像機器・本機の電源を入れてください。リ モコン、モニタに下のように表示されます。

●モニタに本機から出力される文字情報を表示させる にはリモコンの文字表示キーを押してください。 (起動時モニタ表示を OFF に設定している場合のみ)



IV:ビデオ入力選択

HQ : 画質

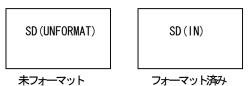
1% : SD 使用済み容量

2009/03/01:現在日付 19:15:20:現在時刻

この状態をアイドルとよびます。記録から再生に移るときも、逆に再生から記録に移るときも、いったんこのアイドルに戻らなければなりません。

SD カードをフォーマットする

フォーマットしてない SD カードは、リモコン画面に「SD (UNFORMAT)」と表示されます。フォーマットしていないカードは、つぎの手順でフォーマットしてください。



1. [メニュー] キーを押す。

モニタ、リモコンにトップメニューが表示されます。 リモコン表示は4行なので上下キーで表示が切り替 わります。

1:ニュウリョクセンタク

2:ロクカ゛カ゛シツセンタク

3:コンポシ゛ットシュウタン

4:RGB シュウタン

5:コンフィク・レーション

<u>0 :</u> SD カート゛フォーマット

[メニュー] キーを押す。
 モニタ、リモコンの表示が下のように変わります。



[1]を選択し[停止/ENT] キーを押す。
 フォーマットが始まります。
 フォーマット中は "フォーマットチュウ" …が表示されます。
 フォーマットが終わるとトップメニューに戻ります。

交換用 SD カードの用意

SD カードが一杯になったり、壊れた場合などの交換用として予備カードをご用意されることをお勧めします。その場合、すぐに録画できるように、本装置にてフォーマット操作を行っておいて下さい。

使ってみましょう

電源を切る

電源の切り方を説明します。

- **1.** リモコンの表示が SD(xxx) (=アイドル状態) であることを確認します。 (xxx は SD カードの状態によって変わります。P.51)
- **2.** SD(xxx)でなければ [検査終了] または [検索終了] キーを押します。
- 前面パネルの LAN/HDD/SD の各 LED が、短い点滅していないことを確認します。点滅している場合は、点灯状態(または消灯)になるまで待ってください。
 短い点滅はアクセス中を示します。
- **4.** 電源スイッチを押します。 これで電源が切れます。

注意

- 電源を切るときはアイドル状態 SD(xxx)にして から切ってください。もしアクセス中(LED 点 滅中)に電源を切るとデータが破壊され、その データが使えなくなることがあります。
- 前面パネルの LAN LED 点滅中(画像転送中)、SD LED 点滅中(SD カードアクセス中)は電源を切 らないで下さい。

画像転送、SD カード書き込みを強制中止するには、[画像転送]ボタンを約2 秒押し続けます。LAN 転送、SD カード書き込みを中止します。

SD カードを取り出す

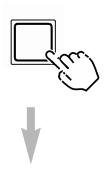
- SDカードの取り出し方を説明します。
- 1. 電源を切ります(前項参照)。
- 2. SD カード用スライドドアを開けます。
- SDカードをいったん押し込むと戻りますので取り出します。
- 4. 交換する場合は、使用する SD カードを挿入します。

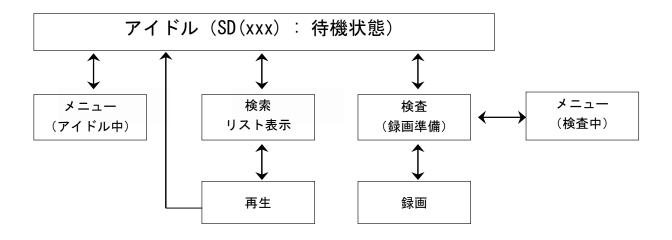
注意

● 電源が入ったまま (特に書き込み中) SD カードを抜くとデータが破壊され、そのデータが使えなくなることがあります。前項の手順で電源を切ってから取り出して下さい。

基本的な操作フロー

この章では最も基本的な操作を説明します。まず操作のおおまかな流れを下図に示します。





記録の前に次の項目を設定してください。

入力信号の選択

S-VIDEO、VIDEO 、RGB 、HD (MV-10XH) 、DVI (MV-10XD) の、どのコネクタからの信号を記録するのかを選択します。10XH の場合、HD 設定にすると高精細アナログ RGB 入力になります。10XD の場合、HD 設定にすると DVI 入力になります。

→ 設定方法 (P. 34)

選択した信号が本機に入力されていないと SYNC ERROR となり、画像を記録することができません。

HD を選択した場合、「HD ニュウリョク」(P.39)の設定も必要です。(MV-10XH のみ)

※MV-10XD は自動識別の為設定は不要です。但し DVI 入力信号種類の切り替えは、アイドル中(検査終了状態)に行ってください。

検査中に行うと画像が正常に収録できない可能性が あります。

画質の設定

EQ(大容量)、SQ(標準画質)、HQ(高画質)、TF(非圧縮= 最高画質、MV-10XS を除く)から、記録時の画質を選択 します。

画質が高いほど SD カードへ記録できる総画像数は少なくなります。又、HDD, SD カードに書き込む時間が長くなりますのでご注意下さい。

→ 設定方法 (P. 34)

磁気カードリーダンバーコードリーダの設定

患者情報を入力する為に磁気カードリーダ/バーコードリーダ (オプション) を使用して操作量を軽減することができます。

使用する磁気カードやバーコードに応じた設定を行う 必要があります。

→ 設定方法 (P. 45)

SD カードのフォーマット

SD カードは記録前に一度本体でフォーマットする必要があります。フォーマットすると SD カードに記録されているデータがある場合は全て削除されます。

未フォーマットの SD カードには画像を記録することが できません。

→ フォーマット方法 (P. 48)

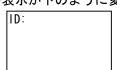
この章では記録の手順を説明します。

記録する

次の手順で、検査(録画準備)状態にすると [録画] キーを押すたびに同じ ID で連番が異なる画像が記録 できます。連番は 1 から始まり 500 までです。500 枚 収録すると患者情報を引き継ぎ自動で次の検査に移り ます。

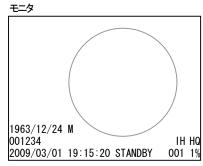
異なる ID で記録したいときは [検査終了] キーを押していったんアイドル状態に戻り、ID を入力してください。

- リモコンの表示が "SD(xxx)" であることを確認する。
- **2.** "SD(xxx)" でなければ [検査終了] または [検索終了] キーを押す。
- [ID] キーを押す。
 リモコンの表示が下のように変わります。



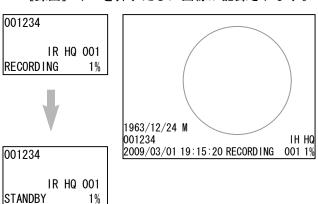
- 4. 文字キーで ID を入力する。 (P. 49)
- 5. [検査開始] キーを押す。検査(録画準備)状態になります。ID が確定し、検査 LED が点灯します。





6. [録画] キーを押す。

[録画] キーを押すたびに画像が記録されます。



7. 「検査終了」キーを押す。

録画準備が解除されアイドルに戻ります。

リモコンの検査 LED は消え、モニタもアイドル状態に戻ります。本体のバッファメモリに保存されているものの、まだ HDD に記録されていない画像があると、それら全ての画像を HDD に書き込んでから検査を終了するための時間を要します。

参考)

● 500 枚録画すると

500 枚録画すると、患者情報を引継ぎ自動で次の検査に移ります。従って、同じ ID で記録することはできますが、検査ブロックは別になります。

● HDD 内の画像について

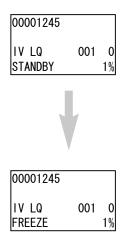
HDD 内は複数パーティションに分けて使われます。 古いパーティションから順に消され、上書きされま す。従って画像を長期に保管するには、PC 等外部 の記憶装置をご使用下さい。

● [文字表示] キーで表示される文字情報、は記録しません [文字表示] キーを押すとモニタに文字情報 (ID、 日付など)を表示させることができますが、画像に 文字情報は記録しません。記録するのは入力画像だ けです。

フリーズ

録画準備中に入力映像を静止させることができます。

 録画準備状態で [フリーズ] キーを押す。 押した瞬間に動画が静止します。 リモコンの表示は下のように変わります。

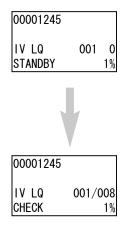


- 録画準備に戻るには→
 もういちど [フリーズ] キーを押す。
- 止めた画像を記録するには→[録画]キーを押す。この操作をすると自動的に録画準備に戻ります。

直前に撮った画像を見る

録画準備中に、直前にとった画像を確認することができます。録画準備にしてから1枚も記録していないときにはこの操作はできません。

 録画準備状態で [チェック] キーを押す。 直前にとった画像が再生されます。 リモコンの表示は下のように変わります。



- このとき [録画] キーを押しても記録できません。
- さらに前の画像を見るには→ ◀キーを押す。 押すたびに1つずつ前の画像が再生されます。 ただし録画準備にしてから記録した画像に限ります。

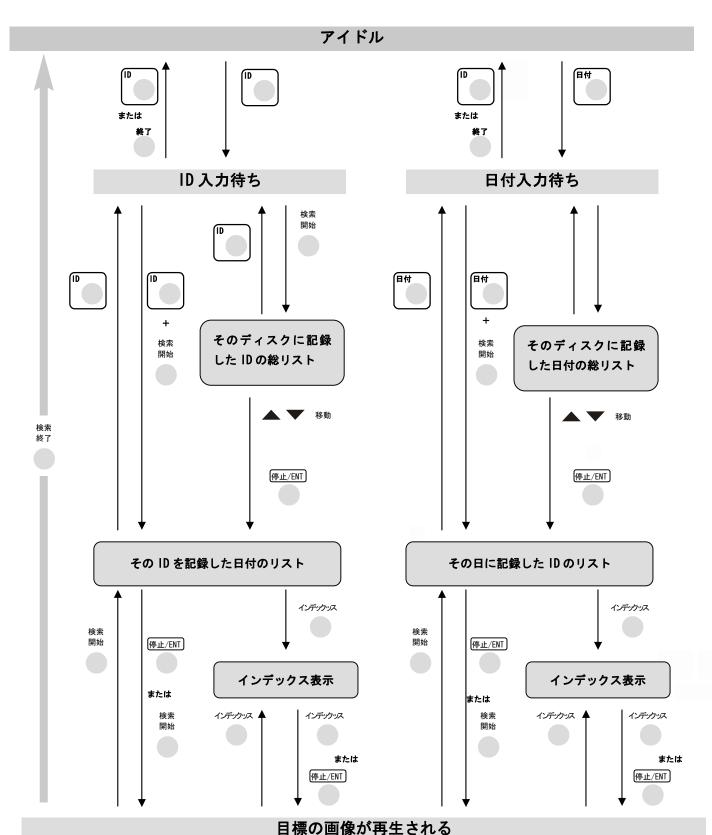
再生する

再生するにはまずサーチの方法を選び、つぎにサーチ目標を入力します。すると希望の画像が再生され、▶キーと

オーでコマ送りすることができます。

再生操作のおおまかな流れを下図に示します。 サーチにはつぎの2種類の方法があります。

- ID サーチ
- ・日付サーチ

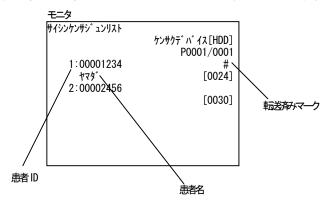


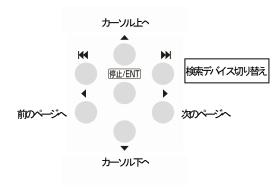
一条の画像が、竹工で10

検索対象デバイス変更

「ID 入力待ち」、「日付入力待ち」、「検索リスト」の各画面で、▶ キーを押すと検索対象を HDD⇔SD カードの間で切り替えます。

現在の検索対象デバイスはモニタ右上に表示されます。

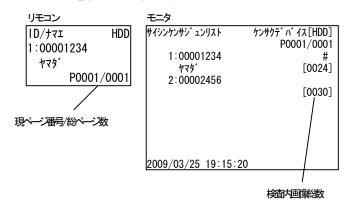




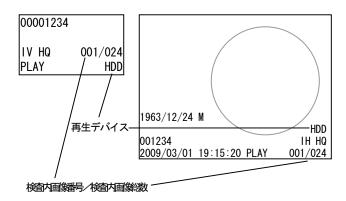
※HDD から検索再生可能な検査は、直近収録 9999 検 査です。本機でそれ以前の再生が必要な場合は、SD カードでの収録が必要です。

全検索

- リモコンの表示が "SD(xxx)" であることを確認する。
- "SD(xxx)" でなければ [検査終了] または [検索終了] キーを押す。
- [検索開始] キーを押す。
 HDD に記録されている全ての検査が新しい順にモニタにリスト表示されます。
 - → ID を指定して検索する (P.23)
 - → 日付を指定して検索する (P. 24)



4. [▼] / [▲] キーを押して画面内の>を上下に移動し、希望の行で[停止 ENT] キーを押します。 指定した検査の最初の画像が表示されます。



参考)

●一度に表示できる ID は最大 10 までです。11 以上 あるときはモニタ右上の表示が「0001/0003」のよう になり、リストが複数のページにわたることを示しま す。このときは ▶ キーを押すと次ページのリストに 切り換わります。 ◀キーを押すと前ページに戻ります。

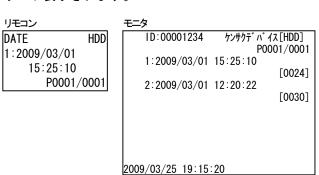
ID 検索

まず ID を指定し、つぎにその同じ ID で記録した画像のリストの中から希望の日付のものを選択してサーチします。

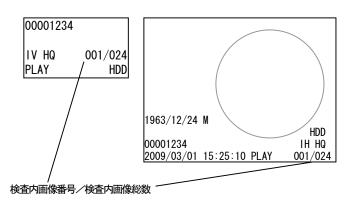
- **1.** リモコンの表示が "SD(xxx)" であることを確認する。
- **2.** "SD(xxx)" でなければ [検査終了] または [検索終了] キーを押す。
- [ID] キーを押す。
 リモコンの表示が下のように変わります。



- 文字キーで ID を入力する。 (P. 49)
 ※磁気カードやバーコードを使用する場合はここで ID を読み込みます。
- [検索開始] キーを押す。
 指定した ID の画像を収録順(新しい順)にモニタにリスト表示されます。



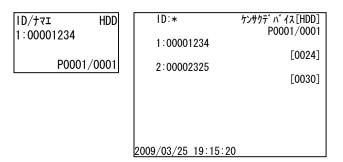
6. [▼] / [▲] キーを押して画面内の>印を上下に移動し、希望の行で[停止/ENT] キーを押します。 希望の日付ブロックの先頭の画像が再生されます。



■ ID がわからないときは

サーチしたいが、ID がわからないというときには、 記録した ID をすべてリストすることができます。 そこから ID を選択すると、その ID で記録した日付 のリストを表示できます。 (最大 9999 検査)

左の手順 4 で「*」を入力すると、すべての検査が収録順(新しい順)にモニタにリストされます。
 (※注意、同一 ID はまとめて表示されます。)



- [▼] / [▲] キーを押して画面内の>印を上下に移動し、再生したい検査を選択します。
- **3.** [停止/ENT] キーを押すと検査の先頭の画像が再生 されます。

日付検索

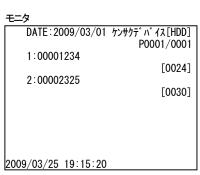
まず画像の記録日を指定し、つぎにその日に記録した画像の ID のリストの中から希望の ID を選択してサーチします。

- リモコンの表示が "SD(xxx)" であることを確認する。
- **2.** "SD(xxx)" でなければ [検査終了] または [検索終了] キーを押す。
- **3.** [日付] キーを押す。 リモコンの表示が下のように変わります。

DATE: 2009/03/25

- 4. 文字キーで年月日を入力する。 (P. 49) 希望の画像を記録した日付を年→月→日の順に入 力してください。
- [検索開始] キーを押す。
 指定した日付の検査が、新しい順にモニタにリスト されます。



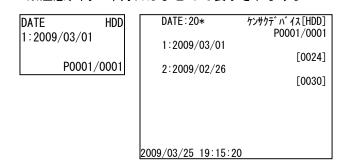


[▼] / [▲] キーを押して画面内の>印を上下に移動し、希望の行で[停止/ENT] キーを押します。
 希望の日付ブロックの先頭の画像が再生されます。

■ 日付がわからないときは

サーチしたいが、いつ、どんな画像をとったかがわからないというときには、記録した日付をすべてリストすることができます。そこから日付を選択すると、その日に記録した ID のリストを表示できます。(最大9999 検査)

1. 左の手順 **4** で「*」を入力すると、すべての検査 が新しい順にモニタにリストされます。 ※注意、同一年月日はまとめて表示されます。



- 2. [▼] / [▲] キーを押して画面内の>印を上下に移動し、希望の行で[停止/ENT] キーを押すと、その日に記録した検査が、古い順にモニタにリストされます。
- 3. 左の手順 6 と同様に検査を選択すると、希望の検査の先頭の画像が再生されます。

インデックス再生

モニタ画面に一度に 9 枚の画像を表示して、その中から拡大表示したい画像を選択することができます。

1. 検査を選ぶ

前項での検索リストで希望の行に>印を合わせ、 [インデックス] キーを押す。

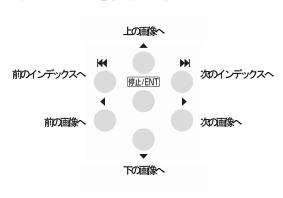
「収録順検査リスト」「指定した ID を記録した検査のリスト」または「指定した日に記録した検査のリスト」の画面で▼または▲キーを押して画面内の>印を上下に移動し、再生したい行を選択して、「インデックス」キーを押します。

9枚の画像が一度にモニタに表示されます。

.,,	/Z!- = - / !	-2011 - 1001 7 8
Ŧ	イシンケンサシ゛ュンリスト	ケンサクテ゛ハ゛イス [HDD] P0001/0001
	>1:00001234	[0024]
	2:00002456	[0024]
		[0030]
	000/00/05 10:15:4	20
2	<u>009/03/25 19:15:2</u>	<u> </u>

2. 画像を選ぶ

画面の中の*マークを移動する。



重番 10 以降の画面で 9 分割の左上に*マークがあるときに
 ★キーを押すと、前のページの右下の画像に戻ります。

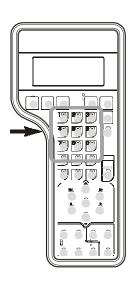
*001	002	003
004	005	006
007	008	009

3. 画像を拡大する (全画面表示する)

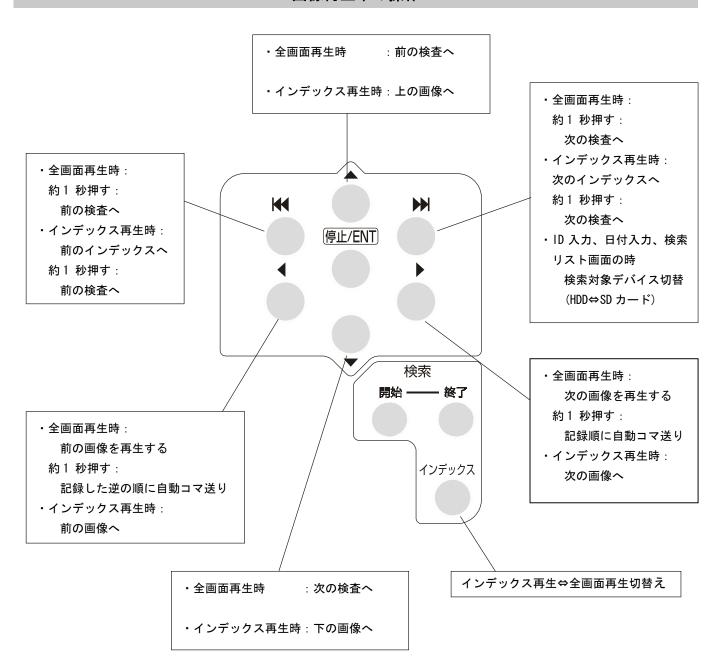
[停止/ENT] または [インデックス] キーを押す。

参考

● 下図の 9 コのキーでダイレクトに分割画像を選べます。7 のキーが左下の画像、3 のキーが右上の画像に対応します。



画像再生中の操作



参考

■ 自動コマ送りの速さを変更する。

自動コマ送りの画像 1 枚あたりの再生時間を秒単位で設定することができます。設定できる時間は 0 ~99 秒です。0 秒に設定すると可能な限り速くコマ送りします。

設定はアイドル状態のときに変更することができます。設定はメモリに記憶され、電源を切っても保持されます。詳しい設定方法は、「インターバル設定」 (P.36) をご覧下さい。

再生中の患者情報を変更する

再生中の画像の ID を変更することができます。 再生中とはリモコン画面の左下に"PLAY"が表示され ているときです。

- ID を変更すると、その ID ブロック内のすべての画像の ID が変わります。
- 再生中に[ID] キーを押す。
 変更を中止するにはもう一度[ID]キーを押します。
- 2. ID 変更確認画面で [ENT] キーを押す。
- 3. 文字キーで ID (名前・生年月日・性別) を入力する。
- **4.** 「停止/ENT] キーを押す。
 - ※IDを変更する検査は、現在再生中のデバイス(HDD or SD)内に限定されます。管理上必要とされるデバイスで再生動作を行って ID を変更して下さい。

HD 画像を NTSC 信号に変換し出力する (MV-10XS を除く)

HD(高精細) 再生画像を縮小して NTSC (RGB、コンポジット(VIDEO)、S-VIDEO) 出力端子に NTSC 信号を出力させる事ができます。

- **1**. HD 再生中(全画面、インデックス画面)に [FNC] キーを押す。
 - →NTSC 側出力から、ダウンコンバートされた画像が出力されます。
 - この時、モニタ、リモコンには "PLAY (NTSC)"と表示されます。
 - またインデックス再生中の時にはリモコンに "INDEX(NTSC)"と表示されます。
 - ※元の画像のアスペクト比が4(横): 3(縦)以外の場合は、正常に表示されません。
 - ※上記操作後、"全画面"再生画像はすべて NTSC 側にも出力されます。ただし"インデックス"再生画像は表示変更する毎に NTSC 側には表示されなくなります。その為、NTSC 画像が必要な時は、再度 1.を実行して下さい。
 - 尚、一度再生操作を終了(アイドル状態)すると次の検索再生のNTSC出力は「再生ダウンコンバート」(P.40)設定に従います。

すべての画像ファイルを転送する

自動転送設定を ON にすると、収録画像すべてが転送されます。

設定は(P.43)の自動転送設定を参照してください。

指定の画像ファイルを転送する

転送したい「画像ファイル」・「検査単位」を選択して転送するには次の手順で行います。

- 検査単位の転送(指定検査内の画像すべて転送)
- 1. 希望の検査を検索します。

P. 22~24 の[その ID を記録した日付のリスト][その日に記録した ID のリスト]又は[全検索リスト]表示状態にして、カーソルを希望検査の行に移動させます。

2. [画像転送]キーを押します。

転送が開始されます。

転送中は前面パネルの LAN LED が点滅し、リモコン 画像転送 LED と本体背面の LAN TRANSMIT LED が点 灯します。リモコンとモニタに "LAN テンソウチュ ウ"メッセージも表示されます。

- 3. 転送が終了すると前面パネルの LAN LED が点灯に戻り、リモコン LED が消灯し、リストに戻ります。
- 画像単位の転送(画面表示画像のみを転送)
- 1. 希望の画像を検索し再生画像表示(全画面)にします。
- 2. [画像転送]キーを押します。

転送が開始されます。

転送中はリモコンの画像転送 LED が点灯し、前面パネルの LAN LED が点滅します。

- 3. 転送が終了すると前面パネルの LAN LED が点灯に戻り、リモコン LED が消灯し、再生状態に戻ります。
 - ※前面の LAN LED 点滅中、リモコンの画像転送 LED 点灯中は電源を切らないで下さい。

画像転送を強制的に止めるには[画像転送]キーを約2秒間押してください。

PC 側の受信ソフトは付属の ViewFile Lite をご使用ください。

指定検査の画像ファイルをコピーする

SD カードにコピーしたい「検査」を選択して転送します。検査内の画像がすべてコピーされます。

- 1. コピー希望の検査を検索します。
 P.22~24 の[その ID を記録した日付のリスト][その日に記録した ID のリスト]又は[全検索リスト]表示状態にして、カーソルを希望検査の行に移動させます。
- **2**. [FNC] キーを押します。

カーソル位置の検査画像コピーが開始されます。 コピー中は、前面パネルの HDD/SD LED が点滅しま

"SD コピーチュウ"メッセージも表示されます。

- **3.** 転送が終了すると LED が消灯し、リストに戻ります。
 - ※前面の HDD/SD LED 点滅中は電源を切らないで下さい。

画像コピーを強制的に止めるには[画像転送]キーを約2秒間押してください。

※SD カード書き込み中は、コピー機能は動作しません。 SD への書き込みが終了してから実行してください。

眼底カメラ同期機能

眼底カメラのシャッター信号とストロボ発光信号のタイミングに合わせて画像を取り込めます。

※入力設定が VIDEO ・S-VIDEO ・RGB の時に動作します。

眼底同期設定にする

眼底同期モードに設定します。 設定方法は P.46 を参照してください。

アクションモードを選択する

下記4種類があります。

1 アクション録画、1 アクションフリーズ
 2 アクション録画、2 アクションフリーズ
 設定方法は P. 46 を参照してください。

眼底カメラ同期ケーブルを接続する

眼底カメラと本機を同期ケーブルで接続します。 (同期ケーブルは付属されておりません、詳細はお問い合わせ下さい)

眼底同期モードにすると、モニタ画面に表示している 文字(OSD)が、画面左側に整列します。下記参照

ID ナマエ セイネンカ゛ッヒ゜ セイヘ゛ツ 収録数 タイマー

SD 使用量 未書込み数 入力 画質 状刻 日付

記録する

眼底カメラからのトリガ(シャッター)信号でストロ ボ同期し収録します。

※眼底同期モード中でもリモコンの録画キーは有効です。

アクションモードでフリーズを選択した場合は録画 キーで収録して下さい。

眼底タイマー機能

録画準備中に、リモコンの[▼]キーを押すとタイマー 機能が開始されます。

この時、画面の左上にタイマー値が表示されます。

(MM:SS、1秒毎の更新)

[▼]キーを押すたびに、[計時開始]→[計時停止]→[リセット]の順で切り換わります。このタイマー情報は画像と一緒に記録されますので、再生時にモニタ画面に表示されます。

※検査開始時はタイマー値が表示されておりません。 開始すると同時に表示されます。

PC で画像を表示する

本機でSDカードをフォーマットすると検索ソフトウェア "DVFinder" が書き込まれます。

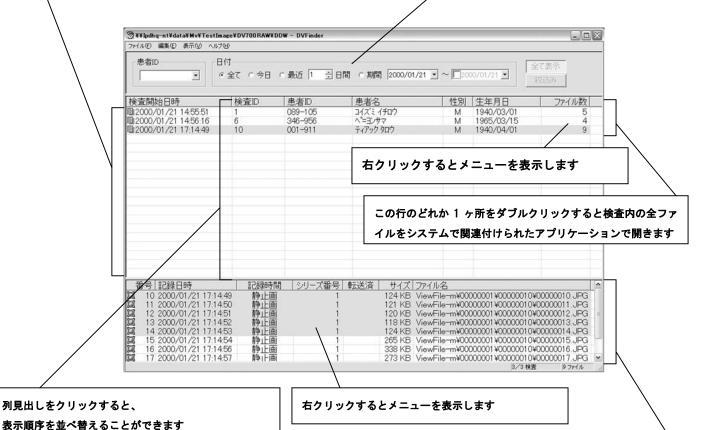
この "DVFinder" により、本機で録画した SD カードを パソコンに入れて検索することができます。



ディスクに記録されている検査一覧を表示します。

検査をクリックすると、下段にその検査の全ファイルを表示します。

絞り込み条件を指定します。[絞込み]ボタンをクリックするか、 Enter キーを押すと条件に合致する検査のみを表示します。



■必要なシステム

CPU : PentiumⅢ 450MHz 以上 OS : Windows 2000/XP/Vista

メモリ : 128MB 以上

ディスプレイ : 解像度800×600以上、1024×768推奨

■起動のしかた

MV-10XH/MV-10XS/MV-10XD で録画した SD カードを「LOCK」を書き込み禁止の方に切り替えてから、パソコンの SD カードスロットに入れます。

SD カードの中の、DVFinder.exe をダブルクリックすると、DVFinder が起動します。

この行のどれか1ヶ所をダブルクリックすると、ファイルを システムで関連付られたアプリケーションで開きます

設定のしかた

 電源投入後、アイドル状態で[メニュー] キーを押します。 モニタ、リモコンにメニューが現れます。

元の画面に戻るには、もう一度 [メニュー] キーを押します。

リモコン

1:ニュウリョクセンタク

2:ロクカ゛カ゛シツセンタク 3:コンホ゜シ゛ットシュウタン

4: RGB シュウタン

5:コンフィク レーション 0:SD カート フォーマット

1: ニュウリョクセンタク

2:ロクカ、カ、シツセンタク 3:コンホ。シ、ットシュウタン

4: RGB シュウタン

5:コンフィク レーション 0:SD カート フォーマット

メニューが 5 行以上ある場合、リモ

コンの表示は▲キー、または▼キーで

の切り替え」なります

2. 数字キー(文字キー)を押してメニューから設定項目を選択します。

選択した項目が反転表示になりサブメニューが現れます。

一つ前のメニュー画面に戻るには「メニュー」キーを押します。

干二タ

1:ニュウリョクセンタク

2:ロクカ カ シッセンタク 3:コンホ シ ットシュウタン

4:RGB シュウタン 5:コンフィク レーション 0:SD カート、フォーマット

1: システムセッテイ 1

2: システムセッテイ 2 3: HD セッティ

4: ネットワーク

5: テンソウセッテイ 6: カート、ハ、ーコート、 7: カ、ンティセッティ

8: システムセッティ 3

リモコン

1:システムセッテイ 1

2: システムセッテイ 2 3: HD セッティ

4: ネットワーク

5:テンソウセッテイ 6:カート゛ハ゛ーコート゛

7:カンテイセッティ 8: システムセッテイ 3

リモコン

3. 数字キーを押して、サブメニューからさらにサブメニューを選択します。

選択した項目が反転表示になり、さらにサブメニューが現れます。

設定を変更せずにサブメニューに戻るには [メニュー] キーを押します。

モニタ

1:ニュウリョクセンタク

2:ロクカ゛カ゛シツセンタク 3:コンホ゜シ゛ットシュウタン

4: RGB シュウタン

5:コンフィク゛レーション

1:システムセッテイ 1

システムセッテイ

3:HD セッテイ

4: ネットワーク

6:カート、ハ、ーコート、 7:カ、ンテイセッテイ

8: システムセッティ 3

2: リモコンブ ザ -3: リモコン EL 5: テンソウセッティ 4:41° dy Ey Lady

5:NTSC ガ ソセンタク

6:インターバ ルセッテイ

7:アイト、ルスルーセッテイ

1:ホンタイナイソ゛ウフ゛サ゛-

8:ツウシンホ゛ーレート

1: ホンタイナイゾウブザー

2:リモコンブザー

3:リモコン EL

4:キト゛ウシ゛モシ゛ヒョウシ゛ 5:NTSC カ゛ソセンタク

6:インターバ ルセッティ

7:アイト゛ルスルーセッテイ

8:ツウシンボーレート

設定のしかた

4. 数字キーを押してサブメニューから設定項目を選択します。

選択した項目が反転表示になり、選択肢が現れます。

設定を変更せずにサブメニューに戻るには [メニュー] キーを押します。

モニタ 1:==ウリョクセンタク 1:システムセッテイ 1 2:ロクカ゛カ゛シツセンタク 3:コンホ゜シ゛ットシュウタン :システムセッテイ 3: HD セッティ 4: RGB シュウタン 4:ネットワーク 5: テンソウセッテイ 6: カート゛ハ゛ーコート゛ 5:コンフィク゛レーション 7:カンテイセッテイ 8: システムセッティ 3 ホンタイナイソ゛ウフ゛サ゛ー 1:ホンタイナイゾウブザー 1:0FF 3:HIGH 2:リモコンフ゛ザ 3: リモコン EL 2:L0W 4:キト゛ウシ゛モシ゛ヒョウシ゛ 5: NTSC ガ ソセンタク [] ENT: セッテイ 6: インターバ ルセッティ 7: アイト ルスルーセッティ 8:ツウシンボーレート

リモコン ホンタイナイソ ウブ ザ ー 1:OFF 3:HIGH 2:LOW [] ENT:セッテイ

5. 設定値を数字キーで選択し、[停止/ENT] キーを押して確定します。

設定を変更せずにサブメニューに戻るには [メニュー] キーを押します。 トップメニューに戻るには、 [検査終了] または [検索終了] キーを押します。

1:ニュウリョクセンタク 1:システムセッテイ 1 モニタ 2: ロクカ゛カ゛シツセンタク 3: コンホ゜シ゛ットシュウタン 4: RGB シュウタン システムセッティ 3:HD セッテイ 4: ネットワーク 5:コンフィク゛レーション 5: テンソウセッテイ 6:カート、ハ、ーコート 7:カ、ンテイセッテイ 0:SD カート` フォーマット 8: システムセッテイ 3 1:#**ンタイナイゾウブザー** 2:リモコンブザー ホンタイナイソ゛ウフ゛サ゛ー 1:0FF 3:HIGH 3: JEav EL 4: 41 ' dv' Ev' Ladv' 5: NTSC n' Yeven 2:LOW [**2**] ENT: セッテイ 6: 129-11 Newst 7: 715 Nan-eyst

リモコン ホンタイナイソ゛ウブ゛ザ ー 1:OFF 3:HIGH 2:LOW [2] ENT:セッテイ

6. [検査終了] または [検索終了] キーを押して設定メニューを終了します。

8:ツウシンホ ーレート

メニュー項目一覧

本輩	表置	のメ	メニュー構成は以下のようになっています。	
1.	入	力退	= - '',,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	ージ
2.	録	画画	画質選択・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ニージ
3.	\Box	ンガ	ポジット終端・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ージ
4.	RG	B 糸	· 終端···········34 ペ	ージ
5.			フィグレーション	
٠.			ステム設定1	
	١.		ヘノム設定! - 本体内蔵ブザー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	::
		2.	リモコンブザー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	いしい
		3.	リモコンEL ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35 ^	ページ
		4.	起動時文字表示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35 ^	ページ
		5.	NTSC 画素選択······36 ^	パージ
		6.	インターバル設定・・・・・・・36 ペアイドルスルー設定・・・・・・・・・36 ペ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		/. Ω	- アイトルスル一設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	トーン
	2.		- 通信パーレー P	\
	۷.		ヘナム設定2 - 時刻設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	e:
			時刻設定 設定読書き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
			HDD フォーマット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
		4.		
		5.	録画確認・・・・・・・・・・・38 ^	パージ
		_	シリアルモード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	トラ
		7. 8.	リファレンスID ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	トーン
	2		・ ジンテレンスTD コピー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	\
	ა.		・設定(MV-10A3 を除く) - HD 入力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	°3
		2	HD 画像サイズ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	いージ
		3.	HD OSD MENU39 ^	ページ
		4.	HD OSD STATUS40 ^	ページ
			再生ダウンコンパート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ページ
	4.		ットワーク	
			機器ネーム設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
		2.	IP 取得・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	トラ
			- IP アトレス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
		5.	デフォルトゲートウェイ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
		6.	NTP 時刻同期・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ページ
	5.	転	送設定	
		1.	サーバーポート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ページ
		2.	サーバーアドレス······43 ^	ページ
		3.	自動転送設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	パージ
		4.	本体ポート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ページ
		о. 6	サーハーホート2 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	いーシ
	6.		ード・バーコード	• /
	U.		ー ド・ハーコード ID 文字範囲·············45 ^	:—: :
		2	名前文字範囲····································	!―ジ
		3.	生年月日文字範囲・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ページ
		4.	性別文字範囲・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ページ
		5.	リファレンスID モジハンイ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ページ
	7.	眼	底設定	
		1.	眼底選択・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	パージ
	_		アクションモード····································	・ージ
	8.		ステム設定3	o
		1.	オフラインサーチ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	トージ
		2. 3	10 桁剱・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ハーシ
		4.	録画フリーズ時間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	いっち
			検査情報埋め込み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
0.	SD	カ-	ードフォーマット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ージ

入力信号に関わる設定

「1: ニュウリョクセンタク」~「4: RGB シュウタン」では映像入力信号にかかわる設定をします。この設定は検査中に変更できます。

[メニュー] → [1:ニュウリョクセンタク]

ニュウリョクセンタク 1:VIDEO 3:RGB 2:S 4:HD [<u>3</u>] ENT:セッテイ

※ MV-10XS は 4 の項目はありません。

映像入力信号を VIDEO コンポジット (VIDEO コネクタ) / RGB (RGB コネクタ) / S (S-VIDEO コネクタ) / HD (HD コネクタ又は DVI コネクタ) / から選択します。(出荷時: RGB (ただし、MV-10XD は HD))

[メニュー] → [2:ロクガガシツ]

ロクカ゛カ゛シツ 1:EQ 3:HQ 2:SQ 4:TF [<u>2</u>] ENT:セッテイ

※ MV-10XS は 4 の項目はありません。

録画画質をEQ(大容量)、SQ(標準画質)、HQ(高画 質)、TF(非圧縮/MV-10XS を除く)から選択します。 (出荷時: SQ)

※TF 選択時は画像容量が大きくなり、メディアに書き 込む時間が長くなります。

[メニュー]

→ [3:コンポジットシュウタン]

コンポ゜シ゛ットシュウタン 1 : OFF 2 : ON [<u>2</u>] ENT : セッテイ

コンポジット (VIDEO) 入力コネクタを終端する (ON) か、しない (OFF) かの設定をします。 (出荷時: ON)

「メニュー] → [4:RGBシュウタン]

RGB シュウタン 1:0FF 2:0N [<u>2</u>] ENT:セッテイ

RGB 入力信号を終端する (ON) か、しない (OFF) かの設定をします。 (出荷時: ON)

「5:コンフィグレーション」では内部動作詳細の設定をします。

1: システムセッテイ 1

2: システムセッテイ 2

3:HD セッティ

4: ネットワーク

5:テンソウセッティ

6:カート・ハ・ーコート・

7: ガンテイセッテイ

8: システムセッテイ 3

※ MV-10XS は3 の項目はありません。

[メニュー]

→ [5:コンフィグレーション]

→ [1:システムセッテイ 1]

→ [1:ホンタイナイゾウブザー]

ホンタイナイソ゛ウフ゛サ゛ー

1:OFF 3:HIGH

2:L0W

[2] ENT: セッティ

本体内蔵ブザーを鳴らさない(OFF)、音量小(LOW)、 音量大(HIGH)を設定します。OFF設定でも重要な 警告は鳴らします。(出荷時: LOW)

[メニュー]

→ [5:コンフィグレーション]

→ [1:システムセッテイ 1]

→ [2:リモコンブザー]

リモコンフ゛サ゛ー

1:0FF

2:0N

[<u>2</u>] ENT:セッテイ

リモコンのブザーを鳴らす(ON)か、鳴らさない (OFF)かの設定をします。OFF 設定でも重要な警告 は鳴らします。(出荷時: ON)

[メニュー]

→ [5:コンフィグレーション]

→ [1:システムセッテイ 1]

→ [3:リモコンEL]

リモコン EL

1:0FF 3:MID 2:LOW 4:HIGH [1] ENT:セッテイ

リモコンのキーは暗い所でも操作できるようにほ

のかに光らせることができます。ここではその明る

さを設定します。

OFF : パネルの明かりをつけません。 LOW : 明るさを弱く設定します。 MID : 中位の明るさに設定します。 HIGH : 明るさを強く設定します。

(出荷時: OFF)

リモコンの照明には寿命があり、使用するにつれ て暗くなっていきます。

[メニュー]

→ [5:コンフィグレーション]

→ [1: システムセッテイ 1]

→ [4: キドウジモジヒョウジ]

キド ウジ モジ ヒョウジ

1:0FF

2:0N

[2] ENT: セッティ

モニタ画面に表示される日付や動作状態などの文字情報(OSD)は、[文字表示] キーで表示したり消したりを切り替えられます。この文字情報を、電源投入直後の状態でどう表示するかを設定します。

OFF : 表示しません。 ON : 表示します。 (出荷時: ON) [メニュー]

→ [5:コンフィグレーション]

→ [1:システムセッテイ 1]

→ [5:NTSC ガソセンタク]

NTSC ガソセンタク

1:640x480

2:688x504 [1] ENT:セッテイ

NTSC 画像の画素を選択します。(出荷時: 640x480)

[メニュー]

→ [5:コンフィグレーション]

→ [1:システムセッテイ 1]

→ [6:インターバルセッテイ]

インターハ゛ルセッテイ [01]

再生時自動コマ送り動作をさせた時、ひとつの画像が終わってから次の画像が始まるまでの間のポーズ時間(0 ~ 99 秒)を設定します。0 を設定すると可能な限り速くコマ送りします。

ENT: セッティ

(出荷時:01)

[メニュー]

→ [5:コンフィグレーション]

→ [1:システムセッテイ 1]

→ [7:アイドルスルーセッテイ]

アイト゛ルスルーセッテイ

1:0FF

2:0N

[2] ENT: セッティ

アイドル状態の時に映像出力端子に入力信号を出力する (ON) か、出力せずに黒一色にする (OFF) かの設定をします。 (出荷時: ON)

[メニュー]

→ [5:コンフィグレーション]

→ [1:システムセッテイ 1]

→ [8:ツウシンボーレート]

ツウシンホ゛ ーレート

1:2400 3:9600 2:4800 4:19200

[3] ENT:セッテイ

RS-232C コネクタを使って通信する際のボーレートを選択します。この設定は電源を入れ直してから有効になります。(出荷時: 9600 bps)

→ [5:コンフィグレーション]

→ [2: システムセッテイ 2]

→ [1: ジコクセッテイ]

シ゛コクセッテイ

[20<u>0</u>9/05/20] [18:52:20] ENT:セッティ

内蔵の時計を合わせます。数字キーで日時を直してから、時報に合わせて[停止/ENT]キーを押してください。その瞬間に時計が修正されます。

本機には内蔵時計を動かすための電池が入っています。この電池の寿命は通常の通電使用状態で約5年です。電池が切れると正しい時刻が表示されません。電池の交換はお客さまにはできませんので、当社のサービス部門にご用命ください。

[メニュー]

→ [5:コンフィグレーション]

→ [2:システムセッテイ 2]

→ [2:セッテイヨミカキ]

セッテイヨミカキ

1:カキコミ

2:3838

[] **ENT**:ジッコウ

本機の設定を SD カードに書き出すことができます。 そのカードを他の MV-10XS/MV-10XH/MV-10XD で読 み込むことにより、同じ設定(同型名どうし)にする ことができます。

※「2:3ミコミ」実行後は再起動(電源 OFF→ON) させて下さい。

「メニュー〕

→ [5:コンフィグレーション]

→ [2:システムセッテイ 2]

→ [3:HDD フォーマット]

HDD フォーマット

1:フォーマット

[] ENT:ジッコウ

HDD のエラーが発生した場合や HDD 内のファイルを消したい場合に使用します。

フォーマットを行うと、収録した画像ファイルは削除されますので注意して下さい。

フォーマット時間は約10秒です。

[メニュー]

_ → [5:コンフィグレーション]

→ [2:システムセッテイ 2]

→ [4:カンジャリストソウサ]

カンシ゛ャリストソウサ

1:マーク

2:サクジョ

[<u>1</u>] ENT:セッテイ

予約患者リスト表示する時に検査済みのIDをマーク表示(マーク)するか、表示しない(サクジョ)かの選択をします。

※本機能を使用するには専用のLAN制御プログラムが必要です。詳細はお問い合わせ下さい。

システム設定 2

[メニュー]

→ [5:コンフィグレーション]

→ [2: システムセッテイ 2]

→ [5:ロクガカクニン]

ロクカ゛カクニン 1:0FF

2:フリース ON

[1] ENT: セッテイ

録画時の確認方法として、画面を長め(約 0.5 秒) にフリーズしたい場合[2:フリーズ ON]を選択しま す。(出荷時: OFF)

※フリーズ ON にした場合、録画間隔が少し大きくなります。この機能が必要なければ OFF でご使用下さい。

[メニュー]

→ [5:コンフィグレーション]

→ [2:システムセッテイ 2]

→ [6:シリアルモード]

シリアルモート゛

1:MV-180

2:MV-X10

[2] ENT: セッテイ

MV-180: MV-180 互換モード通信 MV-X10: MV-10XS/10XH/10XD 通信

(出荷時: MV-X10)

[メニュー]

→ [5:コンフィグレーション]

→ [2:システムセッテイ 2]

→ [7:リファレンス ID]

リファレンス ID

1:0FF 3:オフライン 2:オンライン 4:セレクト

[1] ENT: セッティ

リファレンス ID 機能を使用する場合に

設定します。(出荷時: OFF)

※本機能を使用するには専用のLAN制御プログラムが必要です。詳細はお問い合わせ下さい。

[メニュー]

→ [5:コンフィグレーション]

→ [2:システムセッテイ 2]

→ [8:リファレンス ID コピー]

リファレンス ID

1:0FF 3:ACCN0

2:ID

[1] ENT: セッテイ

リファレンス ID 機能を使用する場合に、その ID を他の項目にコピーして使用するかどうかを設定します。

患者 ID と同一運用なら [2: ID] を設定します。

(出荷時: OFF)

→ [5:コンフィグレーション]

→ [3:HD セッテイ]

→ [1:HD ニュウリョク]

※ MV-10XD には、この項目はありません。

HD ニュウリョク ウエ/シタ 02:VP44 1024x768 60Hz

[02] ENT: セッテイ

以下から、HD入力信号種別を選びます。

01:VP44

640x480 60Hz

02:VP44

1024x768 60Hz

03:VP44

1280x960 60Hz

04:CV26

1080i 60Hz

05:CV26

1080 i 50Hz

06: JVC-HD

1280x1024 60Hz

07:PC VESA

640x480 60Hz

08:PC VESA

800x600 60Hz

09:PC VESA

1024x768 60Hz

10:PC VESA

1280x1024 60Hz

11:XARI0

800x600 60Hz

12:CV26

1920x1080 60Hz

選択肢間のページ移動は [▼] / [▲] キーで行い、 選択肢の決定は数字キーで入力後 [停止/ ENTER] キーで行います。

※02 または 03 に設定すると入力信号を判別して 自動的にいずれかの適切な設定に切り替わります。 ※MV-10XD の DVI 信号種別は、自動識別です。自動で最適な設定にして収録します。

入力信号種類の切り替えはアイドル中(検査終了状態)に行ってください。検査中に行うと画像が正常に収録できない可能性があります。

[メニュー]

→ [5:コンフィグレーション]

→ [3:HD セッテイ]

→ [2:HD ガゾウサイズ]

※MV-10XD は表示のみ

X スタート[0161] Y スタート[0014]

X サイス゛[0800]ENT:

Y サイス [0560] セッテイ

収録画像のサイズ指定が可能です。デフォルト値も しくは適切な値に設定してください。適切に設定し ないと画像が乱れる事があります。デフォルト値以 外で使用する場合は十分検証(記録・再生)を行っ て下さい。又、縦サイズは 8 の倍数、横サイズは 32 の倍数にしてください。

[メニュー]

→ [5:コンフィグレーション]

→ [3:HD セッテイ]

→ [3:HD OSD MENU]

HD OSD MENU オフセット X[04] Y[00] ENT:セッテイ

モニタ画面に表示(OSD) されるメニュー表示位置を 指定できます。デフォルト値もしくは適切な値に設 定してください。適切に設定しないと表示されない 事があります。

- **→** [5:コンフィグレーション]
- → [3:HD セッテイ]
 → [4:HD OSD STATUS]

HD OSD STATUS オフセット X[00] Y[00] ENT:セッテイ

モニタ画面に表示(OSD) されるステータス表示位置 を指定できます。デフォルト値もしくは適切な値に 設定してください。適切に設定しないと表示されない事があります。

[メニュー]

- → [5:コンフィグレーション]
- → [3:HD セッテイ]

サイセイタ゛ウンコンハ゛ート 1:0FF 2:0N [1] ENT:セッテイ

HD 再生画像を縮小(ダウンコンバート)して、NTSC 出力端子(RGB、コンポジット、VIDEO、S-VIDEO) に出力します。

ダウンコンバート出力時は"PLAY (NTSC)"と表示されます。全画面再生時のみダウンコンバート出力し、インデックス再生時はダウンコンバート出力しません。インデックス再生画像のダウンコンバート出力が必要な場合は「HD 画像を NTSC 信号に変換し出力する」(P. 27)をご参照下さい。(出荷時: OFF) OFF:ダウンコンバート出力しません。

のと、ダウンコンハード四方によられ

ON : ダウンコンバート出力します。

※ON にした場合、再生画像操作(次画像、前画像)が緩慢になります。ダウンコンバート出力が必要でない場合はOFF 設定でご使用下さい。

「4 : ネットワークセッテイ」および「5 : テンソウセッテイは画像をネットワーク転送するために必要な設定です。

この設定が済むまでネットワークに接続しないでください。

- ネットワークの設定・接続については、接続するネットワークの管理者の指示に従ってください。
 - 1:システムセッテイ 1
 - 2: システムセッティ 2
 - 3:HD セッティ

4:ネットワーク

- 5:テンソウセッテイ
- 6:カート゛ハ゛ーコート゛
- 7:カ゛ンテイセッテイ
- 8: システムセッティ 3
- ※転送した画像をPCで受信するには付属ソフト "ViewFile Lite"をご利用ください。
- ※自動転送は録画が終わるたびに行われます。転送中は、前面パネルのLANLEDが点滅し、リモコンの「画像転送] LED が点灯します。
- ※転送中に電源を切らないでください。もし電源を 切ると転送中の画像はサーバーに保存されませ ん。また、HDD または SD カードを破損するおそ れがあります。

転送を強制的に中止するにはアイドル状態で[画像転送]ボタンを約2秒間押してください。

※LAN の障害などのために自動転送できなかった 画像は、電源再投入時に自動的に転送されます。 [メニュー]

- **→** [5:コンフィグレーション]
- → [4:ネットワーク]
- **→** [1:キキネームセッテイ]

キキネームセッテイ [______] XXXXXXXXX ENT:シ゛ッコウ

ネットワーク上で使われる名前をつけます。

(出荷時: MV0001)

[メニュー]

→ [5:コンフィグレーション]

→ [4:ネットワーク]
→ [2:IP シュトク]

IPシュトク

1:ジドウ DHCP

2:シュドウ

[2] ENT:セッテイ

本機の IP アドレスの設定を行います。

DHCP サーバーから自動取得する(DHCP)か、手動で入力する(シュドウ)かの設定をします。

1:ジドウ DHCP を選択すると以下の3, 4, 5の設定は自動取得値の参照になります。

(出荷時: シュドウ)

→ [5:コンフィグレーション]

→ [4:ネットワーク] → [3:IP アドレス]

> IP 7ドレス 192. 168. 000. 101

> > ENT: セッティ

本機の IP アドレス設定します。IP アドレスを自動取得に設定した場合、ここには自動取得したアドレスが表示され、変更できません。

(出荷時: 192.168.000.101)

[メニュー]

→ [5:コンフィグレーション]

→ [4:ネットワーク]

→ [4:サブネットマスク]

サフ^{*} ネットマスク 255. 255. 255. 000

ENT: セッティ

本機のサブネットマスクを設定します。IP アドレスを自動取得に設定した場合、ここには自動取得したサブネットマスクが表示され、変更できません。(出荷時: 255, 255, 255, 255, 000)

[メニュー]

→ [5:コンフィグレーション]

→ [4:ネットワーク]

→ [5:デフォルトゲートウェイ]

テ゛フォルトケ゛ートウェイ 000.000.000.000

ENT: セッティ

本機のデフォルトゲートウェイを設定します。IP アドレスを自動取得に設定した場合、ここには自動 取得したデフォルトゲートウェイが表示され、変更 できません。

(出荷時: 000, 000, 000, 000)

[メニュー]

→ [5:コンフィグレーション]

 \rightarrow [4:ネットワーク]

→ [6:NTP ジコクドウキ]

NTP ジコクドウキ

1:0FF

2:0N

[1] ENT: セッティ

ネットワーク上に NTP (Network Time Protocol) サーバーがあり、本機の時刻をその NTP サーバーに 同期させたい場合に [2:0N] に設定します。 同期させない場合、 [1:0FF] に設定します。

通信する NTP サーバーは [サーバーアドレス] で設定した IP アドレス限定です。

(出荷時: OFF)

時刻同期を行うのは、LAN ケーブルを接続した時、 および本機の電源投入時です。 「4 : ネットワークセッテイ」および「5 : テンソウセッテイ」は画像をネットワーク転送するために必要な設定です。

この設定が済むまでネットワークに接続しないでください。

1: システムセッテイ 1

2: システムセッティ 2

3:HD セッティ

4: ネットワーク

5:テンソウセッテイ

6:カート・ハ・ーコート・

7:ガンテイセッテイ

8: システムセッテイ 3

[メニュー]

→ [5:コンフィグレーション]

→ [5:テンソウセッテイ]→ [1:サーバーポート]

サーハ゛ーホ゜ート [10050]

ENT: セッテイ

転送先のサーバーのポートを指定します。 (出荷時: 10050)

「メニュー〕

→ [5:コンフィグレーション]

→ [5:テンソウセッテイ]→ [2:サーバーアドレス]

サーバーアト レス

<u>1</u>92. 168. 000. 151

ENT: セッティ

転送先のサーバーの IP アドレスを設定します。

(出荷時: 192.168.000.151)

「メニュー〕

- → [5:コンフィグレーション]
- → [5:テンソウセッテイ]
- → [3: ジドウテンソウセッテイ]

シ゛ト゛ウテンソウセッテイ

1:OFF 3:SELECT

2:0N

[1] ENT: セッティ

画像ファイルを自動的に転送するか(2:0N)しないか(1:0FF)、または選択して転送するか(3:SELECT)を設定します。(出荷時: 0FF)

自動転送は画像が収録される毎に行われます。転送中は、前面パネルの LAN LED が点滅(1 秒間に約 4回)し、リモコンの画像転送 LED が点灯します。

※この設定を OFF で収録した画像は、後日 ON 設定 に変更しても自動では転送しません。必要ならば 手動で転送して下さい。

3:SELECT を選択した場合、検査終了後の検索再生画面で"転送しない画像"の選択を行ないます。再生(インデックス or 1枚)画面を表示させリモコンの「?」キーで選択、解除(オルタネート動作)を行ないます。"転送しない画像"を選択すると画像中央に"DELETE"と表示されます。この選択を確定させるにはリモコンの「スペース」キーを押します。確定すると転送を開始します。キャンセルするには、「検索終了」キーを押します。

※再生画面の転送選択初期値は "転送予定画像 (=DELETE 表示無し)"ですが、確定操作(「スペース」キー)を行うまでは、転送予定画像のままで転送されませんのでご注意下さい。

転送設定

[メニュー]

- **→** [5:コンフィグレーション]
- → [5:テンソウセッテイ]→ [4:ホンタイポート]

ホンタイホ゜ート [10050]

ENT: セッティ

ネットワーク制御で使用する際の本装置のポート 番号を指定します。(出荷時: 10050)

[メニュー]

- **→** [5:コンフィグレーション]
- → [5: テンソウセッテイ] → [5: サーバーポート 2]

サーハ゛ーホ゜ート 2 [<u>1</u>0051]

ENT: セッテイ

ネットワーク通信する時に使用するPC 側のポート 番号を指定します。 (出荷時: 10051)

[メニュー]

- → [5:コンフィグレーション]
- → [5:テンソウセッテイ]
- → [6:テンソウユウセンモード]

テンソウュウセンモート゛

1:0FF

2:0N

[1] ENT: セッテイ

自動転送機能を使用し、かつ画像を PC 上ですぐに 確認したい場合に ON 設定にします。

なお、HDDへの書き込みよりも転送を優先させますので、特に必要の無い場合は OFF 設定でご使用下さい。(出荷時: OFF)

カード・バーコード

「6:カード・バーコード」は磁気カードリーダ/バーコードリーダを使う場合の設定です。磁気カード/バーコードに書かれた情報の何バイト目を読み取るかを設定します。

- 1: システムセッテイ 1
- 2: システムセッテイ 2
- 3:HD セッティ
- 4: ネットワーク
- 5:テンソウセッテイ

6:カート゛ハ゛ーコート゛

- 7:ガンテイセッテイ
- 8: システムセッテイ 3

[メニュー]

- **→** [5:コンフィグレーション]
- → [6:カードバーコード]
- **→** [1:ID モジハンイ]

ID モシ・ハンイ [00-00]

ENT: セッティ

磁気カード/バーコードに書かれた情報の何バイト目から何バイト目までをID として読み取るかを設定します。最大で32 文字まで読み込めます。開始位置または終了位置のどちらかを"00"にするとID は読み取りません。(出荷時: 00-00)

[メニュー]

- → [5:コンフィグレーション]
- → [6:カードバーコード]
 → [2:ナマエモジハンイ]

ナマエモシ゛ハンイ [00-00]

ENT: セッティ

磁気カード/バーコードに書かれた情報の何バイト目から何バイト目までを名前として読み取るかを設定します。最大で 32 文字まで読み込めます。開始位置または終了位置のどちらかを "00" にすると名前は読み取りません。 (出荷時: 00-00)

[メニュー]

- → [5:コンフィグレーション]
- → [6:カードバーコード]
- → [3:セイネンガッピハンイ]

セイネンカ゛ッヒ゜ハンイ [<u>0</u>0-00]

ENT:セッテイ

磁気カード/バーコードに書かれた情報の何バイト目から何バイト目までを生年月日として読み取るかを設定します。最大で12文字まで読み込めます。開始位置または終了位置のどちらかを"00"にすると生年月日は読み取りません。(出荷時:00-00)

「メニュー」

→ [5:コンフィグレーション]

→ [6:カードバーコード]

→ [4:セイベツモジハンイ]

セイヘ゛ツモシ゛ハンイ [00]

ENT: セッティ

磁気カード/バーコードに書かれた情報の何バイト目(1文字)を性別として読み取るかを設定します。"00"にすると性別は読み取りません。

(出荷時: 00)

[メニュー]

→ [5:コンフィグレーション]

 $\rightarrow [6: n-in-j-i]$

→ [5:リファレンス ID モジハンイ]

リファレンス ID モシ゛ハンイ [00-00]

ENT: セッテイ

磁気カード/バーコードに書かれた情報の何バイト目から何バイト目までをリファレンス ID として読み取るかを設定します。最大で 16 文字まで読み込めます。開始位置または終了位置のどちらかを"00"にするとリファレンス ID は読み取りません。(出荷時: 00-00)

[メニュー]

→ [5:コンフィグレーション]

→ [7: ガンテイセッテイ]

→ [1:ガンテイセンタク]

カ゛ンテイセンタク

1:0FF 3:RC_C 2:RC_T 4:RC_K

[1] ENT: セッテイ

眼底カメラストロボ同期タイミングを選択します。 この設定を行うと文字表示 (OSD) が左側に整列し ます。

[メニュー]

→ [5:コンフィグレーション]

→ [7: ガンテイセッテイ]

→ [2:アクションモード]

アクションモート゛

1:REC_1 3:REC_2 2:FRZ_1 4:FRZ_2 「1] ENT:セッティ

眼底同期モード選択時、録画準備中に外部トリガパルスが入力された時の動作を設定します。

- 1: REC_1 パルスが入力されるたびに記録します。 録画後はフリーズ状態です。
- 2:FRZ_1 パルスが入力されるたびにフリーズしま す。
- 3:REC_2 最初のパルスが入力されると記録し、次のパルスが入力されるまでフリーズを保持します。次のパルスが入力されるとフリーズを解除します。
- 4:FRZ_2 最初のパルスが入力されるとフリーズし、 次のパルスが入力されるとフリーズを解除しま す。

※ FRZ_1 と FRZ_2

収録はリモコンの録画キーで行います。 フリーズ画像をモニタで確認しOK ならリモコン 録画キーで収録するモードです。 「メニュー〕

→ [5:コンフィグレーション]

→ [8:システムセッテイ 3]→ [1:オフラインサーチ]

オフラインサーチ

1:リスト

2: スタンバイ

[1] ENT: セッティ

リファレンス ID 機能でオフライン動作をさせた時の、リスト検索結果が 1 件の時、リスト表示させるか、録画スタンバイにするかを選択します。

※本機能を使用するには専用の LAN 制御プログラムが必要です。詳細はお問い合わせ下さい。

「メニュー〕

→ [5:コンフィグレーション]

→ [8:システムセッテイ 3]

→ [2:ID ケタスウ]

ID ケタスウ [00]

ENT: セッティ

リモコンから入力された ID の桁数を合わせる機能です。入力された [患者 ID]、[リファレンス ID]が指定桁に満たない場合、指定桁まで 0 を付加します(上位桁側)。

リモコン操作で検査開始操作を行ったときに有効です。

※指定桁以上の ID が入力された場合は機能しません。

例、設定 10

ID 入力 12345 → 0000012345

「メニュー〕

→ [5:コンフィグレーション]

→ [8:システムセッテイ 3]

→ [3:ロクガデバイスセンタク]

ロクカ゛テ゛ハ゛イスセンタク

1:HDD

2:HDD+SD

[2] ENT: セッティ

録画したデータを保管するデバイスを選択します。

(出荷時: HDD+SD)

1:HDD

マスター記録デバイスを HDD とし、全画像ネットワーク転送の運用となります

HDD 故障時に、SD カードに録画する非常用バックアップ機能を備えております。従って SD カードを挿入しておくことを推奨します。

※ネットワークへ転送しない場合、このモードの 運用は避けてください。

2:HDD+SD

HDD に記録後、SD カードにも同様の画像を記録します。オフラインで SD カードを PC に移動しデータ保存する運用に使用します。

HDD に書き込んだデータを SD カードにコピーする動作になります。従ってこのモードで収録時に SD カードが挿入されていなかった場合は、SD カード挿入時にコピーを開始します。

※1 枚の SD カード内に収録できる最大検査数は 9999 検査です。容量が空いていても最大検査数 になると SD カードへの収録できませんのでご 注意下さい。

SD カードフォーマット操作

[メニュー]

→ [5:コンフィグレーション]

→ [8: システムセッテイ 3]

→ [4:ロクガフリーズジカン]

ロクカ゛フリース゛シ゛カン [<u>0</u>0] ENT:セッテイ

収録後、画像をフリーズしたまま出力できます。

00 : フリーズ延長しない 01~98: 指定時間(秒)フリーズ 99 : 次の収録までフリーズ

※フリーズ中に次の録画指示が入ると、1度スルー 画像にしてから収録する必要がありますので、通 常収録より時間がかかります。(約 200msec)

[メニュー]

→ [5:コンフィグレーション]

→ [8:システムセッテイ 3]

→ [5:ケンサジョウホウウメコミ]

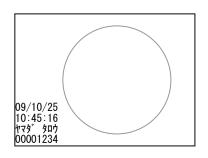
ケンサシ゛ョウホウウメコミ 1:OFF 2:ON [1] ENT:セッテイ

検査属性情報「患者 ID」「患者名」「収録日」「収録日」「収録時間」を収録画像に埋め込みます。

位置は画像の左下になります。

※非圧縮 TIFF 画像には適用されません。

例、



「0:SD カードフォーマット」は SD カードのフォーマットを行います。

[メニュー] → 「0:SD カードフォーマット」

> SD カート゛フォーマット 1:フォーマット [_] ENT:シ゛ッコウ

フォーマットを実行するには、「1」を選択し実行 ([停止/ENT] キー) します。 フォーマット時間は約5秒です。

注意

● フォーマットを行うと、SD カード内のすべての 画像が消えます。

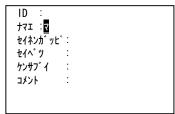


文字を入力するには、 [文字切替] キーで "英" (アルファベット)、 "カナ" (カタカナ)、 "数" (数字) を切り替え、入力したい文字キーを押します。

例:名前に「マツタ」と入力する

- 1. [ID] キーを押して ID 入力画面にします。
- 2. [▼] キーを押してカーソルを2行目に移動します。
- 3. [文字切替] キーを押して"カナ"を点灯させます。
- 4. [7] (マ)キーを1回押します。

モニタ



- **5**. [4] キーを3回押します。「マ<u>ツ</u>」
- 6. [▶]キーを1回押します。「マツ_」
 「ツ」と「タ」は同じキーに割り当てられています。
 "英"モード、"カナ"モードの場合、同じキーに割り当てられた文字を続けて入力するには、[▶]
 キーを押してカーソルを右に移動します。
- **7**. [4] キーを1回押します。「**マツタ**」
- [*] キー([7] キーの下)を1 回押します。

入力した文字を訂正するには

[◀] キー、[▶]キーを押してカーソルを訂正したい文字に移動し、正しい文字を入力し直します。

入力した文字を消すには

[入力クリア] キーをポンと押すと、1 文字だけが 消えます。

[入力クリア] キーをしばらく(1 秒以上)押し続けると、その行に入力した文字がすべて消えます。

■ 入力できる文字数

 ID
 : 32 文字

 名前
 : 32 文字

 生年月日
 : 12 文字

 性別
 : 1 文字

 ケンサブイ
 : 8 文字

 コメハ
 : 32 文字

■ 使える文字

"英"モードのとき

1	2	3	4	5	6	7	8	9		0			*	?
Α	С	Ε	G	-	K	M	0	R	T	W	Υ	ス	*	?
В	D	F	Н	J	L	Ν	Р	S	J	χ	Z	~		
а	С	е	g	-	k	m	Q	r	٧	W	у	_		
b	d	F	h	j	1	n	0	S	t	Χ	Z	ス		
							р		u					
							q		٧					

"カナ"モードのとき

1	2	3	4	5	6	7	8	9		0			*	?
7	ħ	Ħ	þ	t	Λ	7	ヤ	ī	*	7	۰	ス	*	?
1	#	ふ	Ŧ	ш	ע	"	ч	-		Ŧ		~		
'n	7	λ	ッ	Z	フ	L	П	l		ゝ		_		
I	ታ	セ	Ŧ	ネ	<	×	ヤ	حـ				ス		
1	п	ソ	-	7	#	Ŧ	1	П						
7							П							
1														
ל														
I														
t														

"数"モードのとき

1	2	3	4	5	6	7	8	9		0			*	?
1	2	3	4	5	6	7	8	9	無効	0	記号	スペース	*	?

記号: "一" (ハイフン) キーは押すたびにつぎ のような記号を入力できます。 -+=/\$!%&#@..::() []'

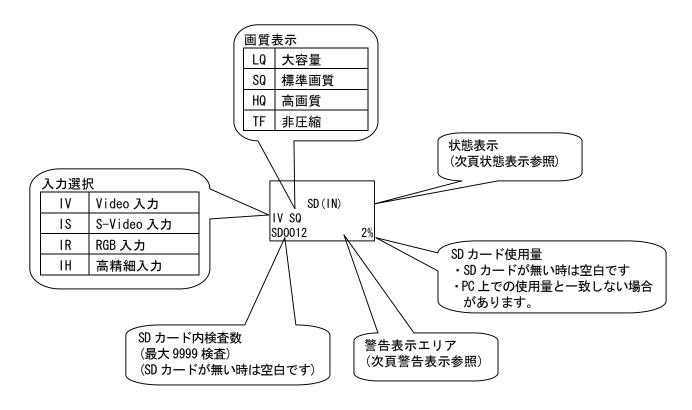
- ●カタカナの長音 "一"を入力するには、"数"モードに切り替えて"一"(ハイフン)を押してください。
- "*" と "?" は ID には使えません。

ブザー仕様

イベント	ビープ音パターン	詳細
起動時	ピピッ	正常起動時
リモコン操作時	ピッ	リモコンのキーを押した時
録画時	ピー(少し長い、約0.3秒)	録画したとき
各種警告	ピッピッピ	現状態では指示された動作ができない時
	ピッピッピッピ	ID 入力が無い状態で、外部録画命令を受けて録
		画した時検査開始時1度だけ鳴ります。
		この時 ID は「\$YYYYMMDDHHMMSS」となります。
		(YYYY:年、MM:月、DD:日、HH:時、MM:分、SS:秒)
	ピッピッピッピ	SD カードに収録指定していて、検査開始時、書
		き込み可能な SD カードが挿入されていない時
	ピッピッピッピ	電源 ON のまま SD カードが抜き差しされたとき
		ビープオフ設定でも鳴ります
重要警告	ピッピッピッピ(約3時間)	収録を継続できない重要な警告時
		リモコンの任意のキーを押す事で停止します
		ビープオフ設定でも鳴ります

リモコン LCD 状態表示

リモコンの LCD に本機の状態を表示します。主に SD カードの状態表示を行います。



表示と音

※状態表示詳細

表示	内容	
INITIALIZE	本体起動中	起動時ハードウェア初期化中
LOADING HDD	HDD 内容読み込み中	起動時 HDD の内容を確認中です
LOADING CHECK	ファイルシステム整合性確認中	起動時、内部ファイルシステムに不整合があり修復
		中です
SD (IN)	SD 準備 OK	SD カードの記録準備 OK です
SD (OUT)	SD カード無し	SD カードが挿入されていません
SD (PROTECT)	書き込み禁止 SD カード	書き込み不可の SD カードです
SD (UNSUPPORT)	未サポート SD カード	本装置では使用できない SD カードです
SD (UNFORMAT)	未フォーマット SD カード	フォーマットされていない SD カードです
!EXT CONTROL!	外部制御中	シリアル通信制御中です

※警告表示詳細

※警告表示詳細 表示	内容	対処、詳細
ERR HDD WRITE	ディスク書き込みエラー 	・ファイルシステム破損
		→HDD をフォーマット
		・修理(サービス部門へ)
ERR IMG COMP	画像圧縮エラー	・入力映像信号確認
		・修理(サービス部門へ)
ERR IMG CAPTURE	画像取り込みエラー	・入力映像信号確認
		・修理(サービス部門へ)
ERR LSI	ハードウェアエラー	・修理(サービス部門へ)
JPEG READ ERR	画像伸張エラー	・再生画像が壊れています
ERR IMG READ	再生時、画像転送エラー	・修理(サービス部門へ)
HDD READ ERR	画像読み出しエラー(再生時、転送時)	・ファイルシステム破損
		→HDD をフォーマット
		・修理(サービス部門へ)
SYNC ERROR	指定入力にビデオ信号がない	・入力映像信号と入力設定をご確認下さい
ERR HDD TEST	HDD 書き込みテスト NG	・修理(サービス部門へ)
SD NO MEDIA	SD カード 未挿入	・SD カードを挿入して下さい
SD WRITE ERR	SD カード 書き込みエラー	・SD カードを交換して下さい
SD UNFORMAT	SD カード 未フォーマット	・SD カードをフォーマットして下さい
SD CAPACITY ERR	SD カード 本装置の規格外	・有効な SD カードを挿入して下さい
SD TEST ERR	SD カード 書き込みテスト NG	・SD カードをフォーマットして下さい
		・SD カードを交換して下さい
SD CARD CHANGE	そろそろ SD カード交換して下さい	・SD カードを交換して下さい
SD EXAM FULL	SD カード内の検査数が最大です	·SD カードを交換して下さい
MEMORY FULL	収録用バッファメモリが一杯で録画で	・メモリ上のデータがディスクに書かれるまで少し
	きない	待って下さい(5 秒程度)
LAN CONNECT	LAN 接続されていない	・LAN ケーブル(接続)を確認して下さい
LAN REJECT	LAN 転送できない	・ネットワーク環境再確認
		通信相手(M-Receive)の確認
LAN NTP	LAN NTP 通信できない	・ネットワーク環境再確認
		通信相手(NTP サーバー)の確認
HDD WARNING	HDD 交換時期です	・HDDの交換を推奨します

点検のすすめ

毎日の使用前に点検を行ってください。故障の早期発 見に役立ち、トラブルを未然に防ぎます。

点検項目

- |●電源コードは正しく接続されていますか?
- ●アース線は正しく接続されていますか?
- ●リモートコントロールユニットは正しく接続 されていますか?
- ●各種コネクタは正しく接続されていますか? (特に周辺装置を使用する場合)
- ●装置の機能保持、安全性の向上のために定期的に点 検を受けることをおすすめします。定期点検を含む各 種の保守点検・保守契約などについては、最寄りの弊 社営業所または弊社サービス部門にご相談ください。

本体、リモコンのクリーニング

安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

トップカバーやパネル面が汚れた場合は、薄めた中性 洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞 った布で水拭きしてください。化学ぞうきんやベンジ ン、シンナーなどで拭かないでください。表面を痛め る原因となります。

ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを痛めることがありますので避けてください。

故障かなと思ったら

つぎのような場合には修理をご依頼になる前に、もう 一度チェックしてください。

【電源が入らない】

電源コードの接続を確認してください。(コンセントから抜けていないか、コンセントに正しく接続されているかなど)

【電源は入るが画像が何も出ない】

本体リアパネルのコネクタが抜けていないか、使用しているケーブルが断線していないかを確認してください。

入力が正しく選択されているかご確認ください。 EE スルーが ON になっているかご確認ください。

【リモートコントロールで操作できない】

リモコンケーブルのコネクタが正しく接続されているかを確認してください。

【画像のコントラストが明る過ぎる、または暗過ぎる】 コンポジットシュウタンおよび RGB シュウタンが正 しく設定されているかを確認してください。(P.34)

保証について

- ●本装置の保証期間は、購入日から1年間です。
- ●次のような場合には、保証期間中であっても有償修 理となりますのであらかじめ了承ください。
 - (1) 誤使用による故障、又は損傷
 - (2) 弊社、又は弊社の指定のサービスマン以外による 改造、及び修理による故障、又は損傷
 - (3) 納品後の落下、輸送などによる故障、又は損傷
 - (4) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障、又は損傷
 - (5) 電源、設置環境条件などの、本製品の使用条件を 逸脱した外部要因による故障、又は損傷
 - (6) 弊社、及び弊社指定の代理店以外から購入された 場合の故障、又は損傷
 - (7) 弊社動作確認済み以外の SD カードを使用した場合の装置の故障、又は損傷
- ●保証期間終了後のアフターサービスについては、有 償にてお受け致しますので最寄りの弊社営業所また は弊社サービス部門にご相談ください。
- ●正しくデータを記録するために必ず、動作確認済みカードをご使用ください。
- ●本装置を運用した結果、及びデータに基づく二次的 な損害につきましては、弊社は責任を負いかねますの でご了承ください。
- ●誤操作や突発的な事故などによる本装置に記憶されたデータの消去につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。
- ●ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに関します第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証を示すものではございません。従いまして、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、又は、これらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

廃棄するときは

本製品ならびに付属品、消耗品等を廃棄する際は、それぞれの自治体の規制に従って廃棄してください。

仕様

■ 一般仕様

記録メディア

内蔵 : 2.5inch HDD リムーバブル : SD(1G/2G) : SDHC(4G/8G)

制御 : 付属リモートコントロールユニッ

ト VS-430 による制御

動作姿勢 : 水平

電源 : AC100 V ± 10% 50/60 Hz 0.9A 動作温湿度範囲 : 5~35°C 30~80%RH(非結露)

最大湿球温度 29℃以下

保存温湿度範囲 : -10~60°C 30~90%RH(非結霧)

最大湿球温度 29 ℃以下

外形寸法

本体 : 約 215W×88H×334D (mm)

「突起物除く〕

リモコン : 約 96W × 30H × 205D (mm)

[突起物除く]

質量

本体 : MV-10XS 約 4.5 kg

: MV-10XH 約4.7 kg : MV-10XD 約4.7 kg

リモコン : 約380 g

規格

安全規格 : JIS T 0601-1:1999

JIS T 0601-1:1999 電撃に対する

保護の形式「クラス | 機器」

電気用品安全法

電磁両立性 : JIS T 0601-1-2:1993

■ ビデオ仕様

記録信号: 30 フレーム/秒 525 ライン

(NTSC 準拠テレビジョン信号) 又は、高解像度ビデオ信号

NTSC 映像入力

コンポジット : 1.0 Vpp 75 Ω終端 S-ビデオ (Y) : 1.0 Vpp 75 Ω終端

(C): 0.286 Vpp 75 Ω終端

(カラーバースト)

RGB R. G. B : 0.714 Vpp 75 Ω終端

コンポジットシンク: 0.3 Vpp ~ 4 Vpp 75 Ω終端

(負極性)

NTSC 映像出力

コンポジット : 1.0 Vpp 75 Ω終端 S-ビデオ (Y) : 1.0 Vpp 75 Ω終端 (C) : 0.286 Vpp 75 Ω終端

(カラーバースト)

RGB R. G. B : 0.714 Vpp 75 Ω終端

コンポジットシンク: 4 Vpp 75 Ω終端(負極性)

NTSC コネクタ : BNC (コンポジット入出力)

: S コネクタ (S-ビデオ入出力): D-Sub 15 ピン (RGB 入出力)

[ミニチュア型]

HD 映像入力(MV-10XH のみ)

RGB R. G. B : 0.7Vpp 75 Ω終端

RGB (シンク付) R. G. B

: 1.0Vpp 75 Ω終端

HD, VD : TTL レベル (正極性または負極性)

ハイインピーダンス受け

HD 映像出力(MV-10XH のみ)

RGB R. G. B : 0.7Vpp 75 Ω終端

RGB (シンク付) R. G. B

: 1.0Vpp 75 Ω終端

HD, VD : TTL レベル (正極性または負極性)

SYNC : 4Vpp 75 Ω終端 (負極性)

HD コネクタ(MV-10XH のみ)

: BNC (R. G. B, HD, VD 入出力)

DVI コネクタ(MV-10XD のみ)

: DVI-D (デジタル入出力)

映像データ処理

画像非圧縮方式: TIFF 画像圧縮方式: JPEG

標本化周波数 : 12.27 MHz ~ 110MHz 量子化ビット数: R.G.B 各 8 ビット/サンプル

圧縮/伸長方式: DCT+ ハフマン符号化

コネクタのピン配列

■ NTSC S-VIDEO INPUT/OUTPUT

端子番号	信号名
1	GND
2	GND
3	S-Y
4	S-C

■ NTSC RGB INPUT/OUTPUT

端子番号	信号名	RGB ケーブル色
1	R	赤
2	G	緑
3	В	青
4		
5	GND	
6	R-GND	
7	G-GND	
8	B-GND	
9		
10	GND	
11		
12		
13	COMP-SYNC	白
14		
15		

■ RS-232C

端子番号	信号名
1	
2	TXD
3	RXD
4	DSR
5	GND
6	DTR
7	CTS
8	RTS
9	

●TXD, RXD, RTS, CTS, DTR, DSR の入出力仕様は、EIA RS-232C に準拠しています。

■ REMOTE

端子番号	信号名
1	
2	+12V
3	
4	GND
5	
6	TXD
7	GND
8	RXD

- ●リモートコントロールユニット(VS-430) を接続するためのコネクタです。
- ●TXD、RXD の入出力仕様は EIA RS-232C に準拠しています。
- ●2 番ピンの+12 V は通常は結線しないでください。

保証書

型名※	MV-10XS MV-10XH MV-10XD
シリアル	No.
保証期間	お買上げから1年
お買上げ日	年 月 日
貴社名	

本保証書は、この取扱説明書に記載の保証規定に基づき無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げ日から保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、本製品の取扱店、または当社サービス部門に修理をご依頼ください。

取扱店

※御使用の型名に〇印を御記入下さい。

■ ユーザー登録のおすすめ ■

登録いただいたお客様には本製品のサポートについて の情報や新製品などの情報をお知らせいたします。 登録いただくにはつぎの2つの方法があります。

●ファックスによる登録

上の「保証書」と右の「ユーザー登録記入欄」に必要 事項を記入いただき、このページをコピーしてファッ クスしてください。(FAX: 042-356-9185)

●郵送による登録

上の「保証書」と右の「ユーザー登録記入欄」に必要 事項を記入いただき、このページをコピーして郵送し てください。

宛先: 〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47

ティアック株式会社

インフォメーションシステム事業部

営業部 W 営業課

〈ユーザー登録記入欄〉

ご所属	
担当者名	
ご住所	〒
TEL	
FAX	
E-mail	
	E-mailによる情報提供 口希望しない
ご使用機種	E-mailによる情報提供 口希望しない MV-10XS MV-10XH MV-10XD
ご使用機種 ご意見	

ティアック株式会社

製品に関するお問い合わせは	インフォメーションシステム事業部	〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47
	営業部 MV 営業課	TEL 042-356-9160 FAX 042-356-9185
修理に関するお問い合わせは	M T S 株式会社	〒358-0026 埼玉県入間市小谷田 858
	情報サービス部	TEL 04-2901-1037 FAX 04-2901-1036
情報機器関連ホームページ	http://www.teac.co.jp/industry/index.html	
E-mail	ipd-mv@teac.co.jp	